大正九年十月二十四日第三種郵便物認可
昭和十二年一月七日 新京日日新聞 (木曜日) 第五千十一號 (一)

新京日日新聞
夕刊 一月六日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三三五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 河野榮忠 編輯人 秋本勇 印刷人 水越内之介

英米遂に共同戰線に出づ

英帝國政策團から米國へ親善使節派遣

敵はドイツ、日本、ソ聯にありと代表戰意すら表明

【ロンドン四日發國通】英國上下兩院有志が組織する帝國政策團(インピリアル・ポリシー・グループ)は今回上院議員フイリモア卿、マンスフイールド伯、下院議員レイクス氏、ワイズ氏、デ・カーシー氏の五名から成る使節團を組織し米國に派遣することゝなつた、使節團は三月上旬出發、ルーズヴエルト大統領、ハル國務長官ならびに米國實業界の巨頭と會見、米國との親善關係促進策につき意見を交換する豫定であるが、更に使節團は將來歐洲乃至極東に戰爭が勃發した時の英米兩國の共同戰線案についても打合せるものとみられる、デ・カーシー氏は語る

英國の敵はドイツ、日本及びソ聯邦である、此三國は自國の都合次第で隨時戰爭を挑發するだらう、今後數年間英米兩國政府は明文上の口約はなくとも漸次最も緊密な協調關係に入ると確信する

獨、スペインに最後通牒を發す

パロス號事件から愈よ惡化

【ベルリン五日發國通】ドイツ對スペイン政府の關係はパロス號事件を契機として急激に惡化するに至つたが、ドイツ政府は五日午前ドイツ艦隊司令官がスペイン政府に對しパロス號の積荷ならびに船客の釋放を要求せる最後通牒を發せる旨左の如き公式コンミユニケをもつて公表した

スペイン領海へ派遣されたドイツ艦隊司令官は五日巡洋艦ケーニヒスベルグ號よりラヂオを通じてヴアレンシア赤色政權に對し一月八日午前八時までにドイツ汽船パロス號の積荷および船客を釋放しない場合にはドイツ政府は抑留中のスペイン汽船アラゴン號及びマルタフンケ號の積荷を買却しその代金をもつてドイツ政府の認めるスペイン政府債權と相殺するとゝもに今後再びドイツ商船に對し海賊的行爲があれば他の適當なる手段をとらざるを得ないであらう旨の最後通牒を發した

スペイン北方艦隊が目下スマセおよびパサエス兩港に碇泊してゐるのに對し英獨兩國海軍の精鋭はガスコニー灣頭を遊弋してゐるからトロール艦隊の出動を契機として重大事件が持上るのではないかと懸念されてゐる

バスク左翼政權

トロール船廿隻に出動命令

【アンデー五日發國通】バスク左翼政權はビルバオ、ピボン、サンタンデル、ベルメホ、サントナ等北海岸各港に待機してゐるトロール船廿隻に對し四日夜即時出動を命令した 各船は叛軍の攻擊に對しスペイン商船並に中立國船舶を防護し、必要な場合直ちに發砲せよとの命令を受けてゐるが

伊義勇軍の上陸は遺憾

英政府言明

【ロンドン五日發國通】イタリー政府はイタリー義勇軍のカデス港上陸說を否定してゐるが、イギリス政府は公報に基き右の事實を確認し五日左の如く言明した

過去二週間にわたりイタリー義勇兵凡そ一萬名がカヂス港に上陸したのは事實である、そのうち六千名は十二月廿二日に、四千名は一月一日に到着した、義勇兵は武裝はしてゐないが、武器は別に携行してゐた模樣である、地中海の現狀維持とスペイン領土の保全に關する英伊協定が成立した直後においてイタリーが不干涉協定違反行爲をなすのはイギリス政府の頗る遺憾とするところである

鮮銀、滿洲より全面的に退却

中銀との爲替協定も消滅

滿洲中央銀行と朝鮮銀行間の業務協定消滅に就ては舊臘兩行間に

圓滿

打合せを了したが、右協定は滿洲國內における鮮銀券流通問題と日本圓、國幣等價維持に對する爲替協定より成り、鮮銀券流通廢止については興業銀行設立に際してその條件となつてゐたが、殘る爲替協定に就ては中央銀行側では同協定のため朝鮮銀行に對して現在一億四千萬圓に達する巨額の預金をなし、これを爲替資金に充當してゐたが、右協定消滅に伴ひ今後は朝鮮銀行との制約を脫して中央銀行は自主的に日滿爲替の維持に當ることになるので、右圓資金になつてゐる鮮銀預金についても當然中央銀行はこれが回收に當るものと解され、かくて朝鮮銀行としては最後の足場である爲替協定も消滅したので、滿洲金融界における卅年來の

勢力

は僅かに興業銀行の株式所有の形式に止まり、滿洲國金融調整のため全面的退却を余儀なくされるに至つた

獨軍艦の射擊にソ聯政府機關紙憤る

【モスクワ四日發國通】ソ聯政府機關紙イズヴエスチヤは四日の紙上においてドイツ軍艦の不法射擊事件を取りあげて次の如く述べてゐる

ドイツ巡洋艦の行動は正しく海賊行爲である、スペイン政府軍艦が戰時禁制品を抑留するのはヘーグ海戰法規に準據する法的行動であるが、ドイツ軍艦ケーニヒスベルグ號がスペイン領海內でスペイン汽船に發砲した如きは正に公然たる戰爭行爲である、ドイツ地中海艦隊は事實上スペイン政府の海軍に對して戰鬪行爲を開始したといふ外ない、同情や親切でドイツ國內の戰爭屋を反省させる事が出來ると夢想してゐた手合は不愉快であらう、この現實に目覺めねばならぬ

無條約第一年建艦競爭始まる

英國トップを切り米日續く

【東京國通】無條約第一年とゝもに日英米三大海軍國をはじめその他列强は、いよいよ自由建艦時代に

突入

し、イギリスは年初早々三萬五千噸の主力艦二隻建造に着手し、アメリカまた世界第一海軍建設の爲五千萬弗の建造費を投じて同じく主力艦(三萬五千噸)二隻の建造に着手することになつてをり當然帝國海軍としてもこれに對應し西太平洋制覇を目ざして海上軍備の擴充に進むわけで世界は自由建艦に入るや既に建艦競爭惹起の兆を示しつゝある、しかし日米兩國は目下のところ大量建艦競爭のトップを切ることを極力回避してゐる狀況であるが、歐洲方面では現在戰爭の危機に瀕する複雜極まる政狀を反映して既に軍備競爭の火蓋は切られ、三萬六千噸の主力艦七隻が佛獨伊三國の手により建造中で、これが完成の曉には歐洲海上兵力の均衡は當然破れることゝなるので、イギリスとしては事實上新主力艦建造のトップを切らざるを得なくなり、これに對しアメリカもヴインソン氏等の大建艦計畫を着實に遂行すべく、現狀のまゝ推移するときは昭和十六年において日本は對米七割以下の劣勢海軍となるわけで、日本としては

當然

これに對應し、自主的軍備の充實をはからねばならない、かくて自由建艦即ち建艦競爭の時代の招致はもはや必至の情勢となつた

未納の營業稅は速に納めよ

差押も辭さぬ稅務當局

昨年十二月二十八日をもつて締切つた昭和十一年第一期分附屬地營業稅その後の納附狀況は總件數三千二百七十六件、金額四萬一千圓の中六日までに完納したるもの二千四百五件、金額三萬三千九百一圓十六錢で差引八百七十一件金額七千八百圓十六錢が未納となつてをり、比較的成績は良好である、しかして來る十日前後には最後的督促狀が前記未納者に對して通達されるはずであるが、なほそれに應ぜざる者に對しては滯納處分による財產差押へ等が執行される、かゝる事はなるべく未前に避けられる樣稅務當局としても銳意努力中である、一般的に言へば概して滿洲國人側が成績良好であるのは注目される現象であるが、邦人側では營業稅を公費と同樣集金されるものと考へてゐるが、これは直接稅務署或は郵便局に持參納附するものであるからその點よく注意ありたいと なほ第二期分納稅期限は二月二十八日限りでこれをもつて昭和十一年分の營業稅は完了されることになつてゐる

田中地方課長

滿鐵新京事務局地方課長田中弘之氏は本社と事務打合せのため四日赴連八日歸任の豫定

林滿鐵庶務課長

滿鐵總裁室庶務課長林顯藏氏は關係機關と事務打合せのため七日午前八時十分の列車で來京する

橘特高課長着任

新京憲兵隊本部特高課長に榮轉の橘少佐は六日午後四時半着列車で關係者に出迎へられ着任した

海軍大學校生來京

海軍大學校甲種、機關學生の視察團は二班に分れ教官矢野大佐、岩本機關大佐らに引率されて左の日程にて來京する

▲甲種學生(第一班)二十八名は兵科指導官矢野志加三大佐以下三名教官引率の下に二日東京出發北支を經て十日午後十時のひかりで着京國都各機關を見學して十二日午後三時二十分發にて哈爾濱に向ふ豫定

▲機關學生(第二班)十名は機關指導官岩本鼎大佐以下教官二名に引率されて二日東京發裏日本から淸津に上陸朝鮮を經て十一日午前八時十分新京着國都各機關を見學し十二日午前八時二十分ハルビンへ向ふ豫定

その日く

□ 日獨防共協定締結成立の意義を有田外相改めて內外に聲明

□ 海の彼方では英の帝國政策團とやらが敵は日、獨、ソと結ばうとしてゐる

□ たしか日獨防共協定、日伊經濟取極めは拔き打ちの喝采の筈だつたが

□ 無條約時代に入つてけふで六日早く列國建艦競走、サイの川原にも似て

□ 泥醉の發作が過ぎてあの世へ、今頃は醉が覺めて樣子の變つたのに驚いてゐるやう

歌は樂譜(二十六)

山中峯太郎 (上海映演) 水門讓二 畫

銀狐の襟卷(一)

永藤食堂の二階。

俊子は、初めてだつた。せまい階段を上つて見ると、すべてが壁も柱も濃く彩色されてゐて、支那風といつた感じの中に、方々の椅子へついてゐるのは、學生が多かつた。入口のカウンタアにゐる少女に俊子は、ソツと聞いてみた。

『露天の食堂、どこでして?……』

『あの、あすこの廊下を、右へお出になりますと』

『さう、ありがたう』

その廊下の方へ、俊子は步きだして行つた。

──井上英子、どんな人かしら?

見知らない人と會ふ好奇心に、胸さわぎしながら、廊下へ出て見ると、左が化粧室になり、右がはの出口のそとが、露天になつてゐて、テーブルと椅子が、明るい光りの中に幾組も置かれてゐた。

そこに、晝すぎの日光を半身にあびて、椅子の一つにもたれてゐる婦人、小紋錦紗の羽織を、すべるやうに着こなして、すばらしく大きな銀狐のショールが、俊子の目をひきつけた。京お召に糸織の派手な帶をしめて、留金はヒスイの、その胸へ右手をあてゝるダイヤの輝きと共に、白麻のハンカチを、つまぐるやうに指へ持つてゐる……。

──この人が、井上英子!

と、俊子は一瞬、廊下の出口に立ちどまりかけた。いかにも有閑夫人らしい、すごくウエーブしてる髮の下に、ジッと探るやうな濃い眸が、俊子を見つめると、大きな頰に微笑しかけて、

──あなた?

と、まるで隔てのない表情を見せた。

俊子は、思ひきつて、その人のテーブルへ行つて見た。

『失禮でございますけれど、井上さまでいらツしやいまして』

『ハア、わたくし。お待ちしてましたことよ』

あでやかなソプラノだつた。三十前後であらう、たしかに夫人らしい井上英子は、なほも微笑みつゞけて、

『お掛けなさいましな。わたくしも失禮してますわ』

自分は、立上りもしないのだつた。

俊子は氣を張りつめたまゝ向き合つて椅子へかけた。

『村井俊子でございます。お手紙をいたゞきまして』

少女給仕が、注文を聞きに來ると、

『お紅茶をね』

と、英子は、見向きもせずに言つて、

『早速ですけれど、俊子さん!』

いきなり、馴れ／＼しく名を呼ぶのだつた。

俊子は、息をつめた。

──この方、どういふ身分の人かしら?

すると、すかさず英子が言ひつゞけて、

『あなた、どうして、あの廣告をお出しになつたんですの?岡澄江に、お會ひになつて?』

『お目にかゝりました』

『さう、本野には?』

『………』

澄江、本野、と呼びつけにして、矢つぎ早に訊ねる相手の唇を、俊子は、まともに見つめた。

──何といふ失禮な人だらう! 初めてだのに、高慢な……。

咎めるやうな俊子の視線を相手の英子は、まるで氣にもかけないらしく、

『ね、本野にあなた、お會ひになつて?』

テーブルの上へ、半身を乗りだすやうにして、熱心に訊くのだつた。

俊子は冷靜に、言葉すくなく答へた。

『いゝえ』

『まあ、では、一度もまだ、お會ひにならないの?』

『………』

『一度も、お會ひにならないんですの?』

『まだお目にかゝつたことがございませんわ』

と、聞くと、英子の情熱的な表情がまざ／＼と落膽したやうに、力なく眸を伏せた。

第七小學校の竣工で通學區域を變更

新設校は十一日から開校

建築中の滿鐵新京第七小學校は工事竣成し十一日から開校することゝなつたがこれに伴ひ既設各小學校の通學區域は左の如く變更された

▲室町校＝中央通、入船町通、東二條通、日ノ出町通以內

▲西廣場校＝中央通、菖蒲町通、西五條通、白菊町通、柏木町通、(但軍官舍を含む)泉町通以內

▲八島校＝天同大街、民康大路、商埠大馬北大街、南大街、入船町通以內

▲白菊校＝天同大街、大同大街、牡丹公園、東萬壽大街、城後路、菖蒲町通以內、及北安通以北、西廣場校區を除く

▲櫻木校＝興仁大路、東萬壽大街、城後路、菖蒲町通、北安通以西及鐵西一帶

▲三笠校＝日ノ出町通、東二條通、入船町通、商埠大馬北大街、南街以東鐵北北三條通以東

▲第七小學校＝民康大路、大同大街、牡丹公園、東萬壽大街、興仁大路以南

子女ある家庭へ

納稅標語募集

特別市公署では昨年度の納稅成績に鑑み本年七月の全面的治外法權撤廢の準備として市民の納稅思想の普及徹底を圖るべく之が方法の一助として左記により一般市民から「納稅標語」を募集することに決定したが多數の應募を希望してゐる

字數　十二字以內一人三句以內
用紙　郵便はがき
締切　一月二十日
賞金　日滿各一等三十圓二等十圓
發表　一月三十一日
申込　特別市公署稅務科宛

恒例の消防出初式

盛大に擧行

式後市內防火宣傳

新京消防隊では六日午前十時から同隊庭に一同集合、監督官猪苗代新京署長以下卅餘名の來賓を迎へて出初式を行つた、まづ橋口隊長の點呼の後猪苗代署長の「消防隊の大なる使命と覺悟」についての訓辭あり橋口隊長訓辭に對する謝辭と自分等消防隊の決心を述べ民衆の爲めに專心努力する旨答へて式を終へ消防自動車にて新京神社に參拜各官公署を歷訪、市內防火宣傳行進を行つて歸隊、一同神酒を酌んで行事を無事終了した【寫眞は上猪苗代署長の訓示　下街頭行進】

電々事務員

泥醉して御厄介

電電會社事務員本田正(二十六)―假名―は五日午前零時三十分頃迄東二條通亞細亞會館で無一文で六圓餘の遊興をした揚句亂暴しこれを靜止する警官に出鱈目を並べ自分の家の方向もわからぬ程泥醉して一夜新京署の御厄介

發作が過ぎて遂にかへらず

開花の賣れつ妓富若

日本橋通り料亭開花の藝妓富若事原靜愛知縣名古屋市中龜洲原町二ノ一鈴木靜江(廿)は五日夜寄業に於ける紹介業者の新年宴會より九時半頃泥醉して歸り西澤藥房から電話で白毛染ルリ葉を取り寄せ自室に入つて寢についたが程なく苦悶してゐるのを同僚が發見、大騷ぎとなり滿鐵醫院で手當の甲斐なく十時半絕命したがルリ葉三包を呑み同家に居る實姉おか代さん當て「すまん」との遺書を遺して自殺を圖つたもので同妓は昨年六月前借四千圓で京城から來たものであるが美貌と三味の上手から相當賣れ妓で自殺の原因とみられるものなく只泥醉すると發作的に氣狂じみた事をする癖があり去年も泥醉の上フラフラと旅順まで行つたことなどもあるので今度もそんな發作ではないかと目されてゐる

吹雪を衝いて四日三晩討匪行

白頭山麓における靖安支隊

東邊道における討匪陣に凡有る因難と辛苦を耐え忍びながら不眠不休の努力を續けてゐる國軍の努力は實に賞讚に値すべきものがあるが、これはその一つの涙ぐましい物語である

十二月十六日午前一時、撫松縣城を出發した靖安軍赤澤支隊は星なき

寒夜

を無氣味な沈默を守りつゝ東邊道の匪賊の中で最も兇暴をもつて聞えてゐる吳義成匪の一味討伐に向つた監泥堡子で朝食をとつた頃から雪となりやがて咫尺を辨ぜぬ吹雪となつたが、精銳練武の靖安隊はこれに屈せず寧ろ勇氣を倍加して困難を極むる雪中行軍を敢行した

撫松縣と言へば森林地帶を聯想するやうに附近一帶は大密林で遠く白頭山に連る高原一帶は樹海といふ言葉に相應しく果しなく續く千古斧鉞を加へざる密林である、雪に掩はれて小路も瞭らず磁石を頼りに前進したが到る處に倒木が橫はつて谷間の兩岸は急峻を極め方向の維持はともすれば失はれ勝ちで、討伐隊は隊長以下全員徒步、手斧や十字鍬で足場を作り幾度か顚倒しつゝ戰友の尻を押し部下の手を握つて雪に辷る

急坂

を攀ぢ登つて山中露營に一夜を明かし十七日再び積雪の山中行軍を續行したが夜に入つて敵步哨が山寨に焚火してゐるを發見し午後十一時これを急襲、敵七を射殺、小銃彈藥、馬等鹵獲し凱歌を擧げたが、支隊にも戰死一、負傷一を出し、引續き敗走せる敵を追擊したが、暗夜に加へて大吹雪の密林內のため遂に匪影を逸し夜の明けるを待つて凍る手に熱い息をかけながら辛うじて鳩に託する報告文を書いた第一回の鳩便に戰勝を祝した縣城の討伐指導部では第二回の鳩通信によつて赤澤隊の行動困難疲勞極度に達し困憊しつゝあるを知つて新京、奉天は無電連絡し飛行機による偵察を行はんとしたが、第三の鳩通信でやつと支隊の位置が判明したのでこれは取止め縣城內にある橇百臺を徵發し滿圖を積んで討伐隊の收容を準備した、明十八日は急に溫度が低下して零下卅度を降り十六、十七日と二晚一睡もしない討伐隊は漸く携行糧秣に

缺乏

を來すにいたつた、附近一帶は無住地帶で住民は稀である、雪は熄んだが肌を刺す長白颪は一入身に浸みて痛く、凍傷の魔の手は次第に勇敢なる兵士に襲ひかゝつた、この場合凍傷患者を最少限に止めるためには人家を發見次第出來るだけこれに收容休憩させる外に手段はない、殘餘は更に人家を求めて行軍する、この支隊の苦境を報ずるため支隊長の當差(傳令)二名は晝夜兼行縣城に急いだ、責任觀念強い傳令兵は刻苦漸く目指す縣城に到着するを得たが悲壯、口もきけずばつたり倒れてしまつた、手足ともに白蠟の如く靴を脫がすのに小刀で靴を破らねばならなかつたが辛じて息吹き返して支隊の情況を報告救援を求め責任を果すことが出來た、この急報に接して指導部では直ちに縣城にある軍警、自衞團等を總動員これが救援收容に向はしめ又鮮人醫師四名は藥を携へ息も凍る夜道を健氣にも支隊の歸りを待つべく縣城南面へ急いだ、かくて十九日夜半一名の落伍者も出さず縣城に

歸還

することが出來たが不幸八十五名は凍傷患者として入院する餘儀なきに至り內十五、六名は手、或は足を切斷する悲運をかこつことゝなつた、この勇敢なる兵士の幾人かゞ廢兵院に收容されることを思へば聞く人々また一滴の涙なきを得ないであらう

全滿氷上Ａ級

新京代表決定

九、十兩日奉天で

全滿氷上Ａクラス選手權大會は九、十兩日奉天國際リンクに於て開催されるが同大會に出場する新京の選手は左の如く決定八日午前八時のひかりで出發の豫定である

▲ホッケー＝主將藤原豐三郞、選手小野里始、鹿毛博志、岩田松雄、福元淸、北川裕圓、澤幸一、峯島眞枝、飯田修一、結家文典、石東力武

▲男子スピード、坂下奎介、廣本治郞

▲フヰギユアー、林出梅子、山下千津子、松本トラ子、伊藤房子、廣本夏子、大本淑子、川村綾子、藤岡芳子、中村美智子、吉弘照子、城川美津子、田中弘、白石正男

▲女子スピード、監督古川、瀧三七子　選手大谷定子、峯下啓子、伊藤みつ子、山下和子、中村和、吉川喜美子、山口朝子

初春新家庭訪問記（一）

このはるはことにほがらのしんふうふ

夢の世界を步んでる二人でして！

師表に恥じぬ大隈訓導

門脇生

みなさんのぞいちやいやだわよあんまりみつめちやいやだわよ……のぞいちやならない新婚の園―それは夢幻の湖に金の船を浮べ愛の双手にかたく握つた櫂櫂を、近くて遠い希望の彼岸へまさに漕ぎ出さむとする人生の春ではなからうか、禁斷の園誰か荒すーイーエ、世は屠蘇の香も和やかに明けた春よ、甘美にしていと淸純に國都に咲き出でた人生の花園をソツと覗いて、春の二重奏、朗らかな新婚行進譜を奏でゝは千代に八千代に吾が世の春を頌えむと。

明けろに遲い北安路街、ひつそりとした朝の靜寂を衝いて室一杯流れ込む日ざしを滿身に浴び、窓際の机一つにさし向ふ若夫婦朝の讀書時、千代の誓いに結ばれて十日の夢は朗かな三笠小學校訓導大隈末雄氏夫妻の新家庭である

○……○

誰れも知ることの出來ない身二つにして魂一なる唯二人にのみ許された別世界だ、このひと時「あなた」と、新婦の紅唇からほころび出たかも知れない、いや愛のささやき、くさぐさの睦言が次々交はされていたのかも知れない、常にはその一擧一動さへもが街の噂さにもなろう末雄氏は三笠校に花子さんは室町校に師表として教壇上にある人、二人の世界にあつては睦言もさゝやきもはゞかる事なく許されていゝ筈、罪な―末雄氏の實兄白菊校訓導大隈巖氏に案內されて靜寂な愛の巢を破つた訪問子

○……○

「胸中水鏡是人材」―と床には鄭前總理の筆になる絹本に若夫人の手によつて生けられた松竹梅と三方の重ね餠は靜なるこの家の春のシンボルだ

二十三―年よりもずつと若く見えるはち切れる樣な健康を淸楚な黑の服に包んで『お寒いのによくこそ…』と花子さんのかそかな訪問子への御挨拶の言葉にさし出される茶器の手さばきにもチラッとぬすみ見る夫君、新妻を氣遣ふ心やりではなかろうか『所謂ホヤ〱で夢の世界を步んでる二人でして！』兄さまのバツを合はせる應援にも體育で鍛へたと言ふ精悍溌溂たる末雄氏は『いや新婚でも顏だけは見知り合つていたのですから知らぬ人と一緒になつた樣なことはないよ』と勇敢に夢の世界を反駁せられたものゝ、その言葉もと切れぬうちハハ……と哄笑に頭を搔いた手は夢の世界をこそ肯定した言葉と見てとることは敢てひがめではなかろう、この末雄氏の否定の肯定は、側らに小さく控へ語ろう夫君の後姿を思ひやる花子さんのふつくらとした双頰をパッと時ならぬ紅に染めてしまつた羞恥の紅―それは至純な女性にのみ與へられる特權だ、また美しくかいま見た訪問子である。

○……○

お二人とも指折り數へて人知れず待たれたであらうこの冬休みも今日を名殘りに明日から始業、最後の今日一日は暮れるにことさら早いかも知れぬ、長居は禁物、長く語らぬことこそ花である

溌溂たる健康に惠まれたお二人の前途を祝しいつまでも甘美な夢の世界の續かむことを祈つて愴惶として辭す、外は陽光燦爛、晴れた春空に向つてフーと吐き出した訪問子の溜息の太く長かつたことよ、春だ、(寫眞は應接室の二人)

東京大相撲新番附

十五日から

【東京國通】大日本大相撲春場所は來る十五日初日二十五日まで十一日間東京國技館で擧行されるが是に先だち協會では五日午前六時新番附を左の如く發表した

	東	西
橫綱	玉錦	男女川
張出橫綱	武藏山	なし
大關	双葉山	淸水川
	(張出)	鏡岩
關脇	出羽湊	笠置山
	和歌島	大潮
小結	磐石	桂川
前頭	大邱山	兩國
	玉ノ海	幡瀨川
	綾昇	旭川
	海光山	五ツ島
	巴潟	太刀若
	新海	九州山
	土州山	楯甲
	駒ノ里	綾若
	出羽花	綾川
	富ノ山	高登
	前田山	番神山
	大浪(改め大平山)	鯱ノ里
	松前(改め渡島灘)	名寄岩
	筑波嶺	大八州
	防長山	射水川
	金湊	三熊山
	星甲	北海
幕下十兩	峰巒	松浦潟

正月も過ぎて續々歸京

列車も增結

年末年始里がへりの旅客がきのふ今日各官廳、學校等の御用始、始業式となり大連方面から歸るので旅客列車はいづれも超滿員で六日午前六時着急行、同七時十分着急行、午後三時着普通、その他主要旅客列車はいづれも三等車一輛乃至四輛づゝを增結運行してゐる

あす(七日)

▲東京少女歌劇公演、午後五時、公會堂

▲新京短歌會新年歌會歌稿締切、本社學藝部宛

◉…今晚の主なる演藝…◉

▲六・二五趣味講座「鳥居の話」(東京)阪谷良之進▲六・五五カレントトピックス(東京)▲七・三〇一中節「廓の壽」(東京)都一梅外▲七・五五俚謠「佐渡の春駒」(新潟)幅野寅吉外▲八・三五人形淨瑠璃「双蝶々曲輪日記橋本の段」(大阪)

人事往來

着京

▲吉田源三氏(三井物產)五日來京ヤマトホテル
▲辻熊郞氏(同)同
▲杵沼實氏(シンガーミシン)同
▲福岡信夫氏(會社員)同
▲佐々木行雄氏(朝鮮總督府)同
▲大形孝平氏(滿鐵)同
▲梅津理氏(奉天工業土地重役)同
▲石田弼氏(官吏)同
▲森田良一氏(同)同國際ホテル
▲永井勝三氏(鑛業)同
▲小坂竹三郞氏(官吏)同喜久屋
▲安齊米藏氏(同)同
▲中川勝平氏(同)同滿蒙旅館
▲原田四郞氏(會社員)同
▲七里定雄氏(同)同
▲早坂不二雄氏(木材商)同中央ホテル
▲篠原齊氏(官吏)同新京ホテル
▲宮津義雄氏(鐵道總局)同大丸新館
▲渡邊南市氏(大同公司)同
▲田中住治氏(官吏)同
▲佐藤勝四郞氏(會社員)同富士屋會社
▲島崎昇氏(第一生命保險)同
▲渡邊政雄氏(本溪湖警察署長)同
▲福岡與世富氏(醫師)同國都ホテル
▲市川宗助氏(奉天商工銀行專務)同
▲野崎忠一氏(大倉商事)同
▲細野重雄氏(滿鐵)同
▲伊藤侃二氏(東京ガス會社)同
▲渡邊佐吉氏(同)同
▲遠藤獅太郞氏(同)同
▲長畑博祐氏(トラック運輸業)同向陽ホテル
▲玉野正一氏(建築業)同
▲福原淸一氏(官吏)同
▲佐藤哲四郞氏(同)同

出發

▲高久甚之助氏　五日發圖們へ
▲加藤郁哉氏　同
▲堀川武雄氏　同吉林へ
▲岡島壽一氏　同ハルビンへ
▲淸水淸太郞氏　同四平街へ
▲今橋織一氏　同內地へ
▲長田知之勳氏　同
▲小島孝氏　同興安南省へ
▲早坂不二雄氏　同ハルビンへ
▲桝谷憲信氏　同奉天へ
▲新潟開司氏　同
▲阿部獻介氏　同
▲水町凉氏　同
▲剛崎虎雄氏　同ハルビンへ

父松崎一郞儀永々病氣加療中の處藥石効なく遂に一月六日死去仕候間辱知の方へ此段及謹告候也
追而葬儀は一月七日午後三時西本願寺に於て告別式相營可申候
嗣子　圭助
妻　フサヨ
親戚總代　蓼沼泰一
　　　　　荒川昌美
友人總代　弓岡義一
町內會總代　石山金治

東京少女歌劇團一行
愈よあす開演
＝二日間に亘り公會堂で＝

日本三大歌劇の一として知られてゐる東京少女歌劇團一行五十餘名は既報の如く愈よ明七日より二日間に亘つて記念公會堂において華々しく開演することになつたが、新春劈頭を飾るに相應しい豪華版として前人氣旺んである、今回は陣容、脚本から背景に至るまで總てを一新、三七年度のスタートに幸先きよき前途を約束しやうとするもので、演出指導には鈴木康義氏が才腕を振ふ、尚上演プロは左の如く、入場料は一圓五十錢、滿鐵の後援がある【寫眞は「會津少年」の一場面】

▽第一日目
一、ナンセンス　街燈のある風景
二、樂劇　サーカスの娘
三、オペレット　誤解される女
四、歌劇　會津少年
五、レビュウ　愛の翼
六、ジャズ　(獨唱)

▽第二日目
一、ナンセンス　モダンカフェー
二、ヴォドビル　吹雪のもとに
三、歌劇　群雀
四、悲劇　ベニスの水兵
五、ヴラエテー　アジアの曙
六、ジャズ　ダンス

新興大泉が七大名曲映畫全集

一九三七年と共に、更に躍進する新興大泉は、新春に發表する一大新企劃の一つとして、本邦音樂史上に不朽の名曲と謳はれ、廣く全國子女の人口に膾炙されてゐる左の七大名曲を選定、これの映畫化を決行する事となつた

即ち、代表的日本音樂作品『螢の光』は彌生月、小學兒童の口から叫ばれる事實上の國民歌謠、『野いばら』は巷間、女學生間に愛誦されてゐる少女時代の感傷の切なさを謳つた皐月の物語、『故鄕の空』は長月の夜空、父母を偲び、故鄕を思ふ唄、『庭の千草』、『夜の調べ』は共に曲律の美しさと共に、あまりにも有名な霜月二篇の詩、『哀れの少女』は如月の吹雪に苦しむ少女の哀れを描いた大和田建樹氏の名作、『孝女白菊の歌』に至つては名文家落合直文氏の代表的傑作にして、十四歳の春淺き彌生、可憐白菊の純情を唄つた名歌である等、かく七大名曲、七色のバラエテイに富み、この名曲シリーズを各月、その月々にふさはしく順次發表する事になつたが、スタフ、キャスト共に、萬全を期し、典型的日本音樂映畫として發表することとなつた、尚、題名スタフ等左の如くである

1、螢の光……原作脚色　如月敏　監督　落合吉人
2、野いばら……原作脚色　陶山密　監督　田中重雄
3、故鄕の空……原作　大和田建樹　脚色　松崎博臣
4、夜の調べ
5、哀れの少女……原作　大和田建樹
6、庭の千草
7、孝女白菊の歌……原作　大和田建樹

▽ジャングルの女王△

パラマウント映畫　往年のヒット映畫「密林の王者」の姉妹篇として作製せられた作品で、猛獸に育てられた野性の美女を繞るロマンスが、荒々しいジャングルを背景としてスリリングな刺戟を點綴しつゝ物語られる、原作はマクス・マーシン、脚色はシリル・ヒューム他二人の協力になり、監督にはウイリアム・テイーレが當つた、主演者としてはラヂオ・シンガーとして有名なドロシイ・ラムーアのデヴューを助けてレイ・ミランド、エイキム・タミロフ等が活躍をする、キャメラはハリイ・フイシュベックの擔當、豐劇、新京キネマ七日封切、寫眞はその一場面

サボテン

丸善の綾子クン、近頃お客の顔さへ見れば日本のおサツの一圓があつたら換へて頂戴ねといふ、事情を聞くと仲々の弟思ひで「內地ですぐ使へる樣に手紙に同封して送つてやるのだ」そうだ▲「爲替だと母に見つかる心配がある」と言ふがそれよりうつかりすると郵便法違反になりますよ▲「まあ！失禮な」扇芳ホールのナムバーワン洋子君大きなお尻をドカッと椅子に下し乍らグッとホールを睨んだ、どうもただ事ではない「何うしたんだい」と訊ねたら「非道いはあの人踊り乍らソーと手を後に廻してズロースのひもを引張つてパチンと離すんだもの」▲はゝあ、讀めたぞれでバンドが氣をきかして普通三分の曲を一分半位で止めるんだね

雜音

不況だといひ館數が多過ぎるといひとや角の危懼と悲觀の言葉が飛んでゐたが、いざ開けてみると矢張りこの世界の賑ひは大したものである六館皆な連日滿員の活況を見せ、お正月は映畫からの文字通り娯樂の王座を示した▼初日から三日までの各館の揚りをあげて見れば、長春座の三千六百圓を筆頭に道に松竹映畫のマークの力量を見せ、帝都がこれに次いで三千五百圓見當、豐劇が三千百圓、新キネ、銀座キネマが約三千圓、朝日座が二千二百圓程度であると言はれる▼新二館を除いた四館は何れも昨年度よりやゝ調子を落したと見られるが、新二館の揚りを加へてみれば新京映畫界の總勢は昨年度以下にあるものとは見られない▲初春麗らかにこの飛躍の數字は目出度し〱、映畫街への新年の御慶は先づこゝら邊りから申し納めさせて貰ふことゝする

舊十一月廿五日　一月七日　木曜　甲午　大安　執　角宿

●一白の人　我慾のみに耽らず業務を勵み公益に盡せよ　申と庚と辛が吉
●二黑の人　榮耀に浸らず眞面目に家事を勵めば向上す　乙と丙と丁が吉
●三碧の人　撚の戻る如く兎角業績揚らざる辛抱第一　壬と壬と癸が吉
●四綠の人　不滿は常に附纏ふものにて現狀に喜を恩へ　申と壬と癸が吉
●五黃の人　勞多くも屈托するな辛抱すれば幸運も廻る　庚と辛と癸が吉
●六白の人　眞心は人に認めらる悲觀を息めて努力せよ　乙と申と庚が吉
●七赤の人　羽盤けざれば飛ぶに無理あり巣に在るが吉　丁と庚と辛が吉
●八白の人　心の緒を締めて事に當れば患も散ずべき日　庚と辛と壬が吉
●九紫の人　元氣に任せても物事は案外捗らず自重せよ　乙と壬と癸が吉

躍進の滿洲國貿易 昨年度輸出激增

—總額十二億八千九百餘萬圓—

十二月分貿易額は輸出入ともに著しく增加を示したが、殊に輸出の躍進は顯著であつて結局十二月は出超一千三百四十九萬一千圓となつた

かくて康德三年の貿易を概計するに輸出五億九千八百六十七萬五千圓、輸入六億九千六十九萬三千圓、輸出入合計十二億八千九百卅六萬八千圓であつて、差引入超は九千二百一萬八千圓に止まる事になつた、これを前年度貿易額と比較するに輸出においては一億七千七百萬圓即ち約四十二%の激增を示し輸入においても八千七百萬圓即ち約十四%の增加を示した、さらに輸出入合計においては二億六千四百萬圓約廿六%の激增であつて貿易總額においては未曾有の數字に上つた

なほ入超額は前年に比し九千一百萬圓約五〇%を減じて貿易尻の改善顯著なるものがあつた、これを通觀するに康德三年の貿易は特産輸出の振興と國內購買力の增進にともなふ輸入增により特色づけられ滿洲國力發展の動向を如實に示したことは欣快とするところである

△輸出入貿易總額(單位千圓)

	十二月分	前年同期
輸出	七三、七四〇	四〇、二九八
輸入	六〇、二四九	四九、四〇七
合計	一三三、九八九	八九、七〇五
輸出超過	一三、四九一	—
輸入超過	—	九、一〇八

一月以降累計

	康德三年	康德二年
輸出	五九八、六七五	四二一、〇四七
輸入	六九〇、六九三	六〇四、一四九
合計	一、二八九、三六八	一、〇二五、一九六
輸入超過	九二、〇一八	一八三、〇九一

△主要稅關別總數

△輸出

稅關別	計
大連	五二、二四七
哈爾濱	五
新京	三、六一五
安東	—
營口	五、一五五
奉天	—
圖們	一、一一六
龍井村	三四八
清津	三、六〇〇
雄基	一、一二七
羅津	五、一三六
承德	二
山海關	一、四三九
計	七三、七九〇

△輸入

稅關別	計
大連	四六、五四〇
哈爾濱	二二一
新京	四五一
安東	五、五五二
營口	一、三三一
奉天	一、六八七
圖們	一、四七六
龍井村	二三六
清津	八七三
雄基	九五
羅津	一七九
承德	—
山海關	一、六五六
計	六〇、二九九

本年度に於ける日本貿易の展望

政府、積極的統制に乘出す

最近日本經濟の發展に軍需工業と相並んで最大の原因となつてゐた對外貿易は昨年上半期から我輸出品の大宗たる綿織物の退勢、雜品の輸出伸展力すなはち增加率の減退から早くも貿易の惡化を唱へられその前途は各方面から相當憂慮された、すなはち昨年上期の內地入超額は二億七千百萬圓に達し、前年たる昭和十年の同期に比し實に一億百萬圓の激增となり加ふるに下期も出超豫想の一億七千萬圓程度を裏切り出超額は一億圓に止まつたため、結局一億七千萬圓の入超に終り、これを前年に比すれば一億六千萬圓の入超增といふ惡結果を示したのである

政府はこの貿易成績に鑑み、勿論今直ちに極度に其前途を悲觀することはないとするも列國の自給自足的な貿易政策に對抗して我國の商權を確保するためには到底從來のやうな當業者の自主的な措置に任せ得ないとして今議會に貿易調節法を上程すると共に關稅制度に未だ嘗てみざる大改革を行ひ複關稅制を新設し、輸出稅を置く等、政府自らが積極的に貿易統制を行ふにいたつたのは我國貿易の將來に幾多の波瀾を豫想せしめるのであつて、本年の貿易は、これ等の政府の諸政策が實施される第一年であり、軍事費の本格的な膨脹日濠、日印交渉の結果、日支關係、米國の景氣好轉等、わが對外貿易に重大影響を與ふる內外事情が錯綜してゐるので、その成績はこれ等の事情の進展如何によつて左右される點が多い

しかしながら昨年の貿易實績を基礎に十二年貿易を豫測するに、その貿易內容に著しい變化なく、結局、軍需品關係の輸入增加により一億五六千萬圓乃至二億圓程度の入超に終るであらうといふのが關係各方面の一致した觀測である

我國の貿易は、輸出原料品を輸入し、これに加工して輸出するのであるが、本年は通商關係に著しい變動も豫想されず、むしろ好轉材料すら見出され、加ふるに國內的には軍需品の需要增から輸入の增加が相當見込まれてゐるので貿易總額においては減少を來さぬであらう

我國の經濟活動の上に貿易の占むる地位は英國をも凌ぐ大いさを有し、世界各國中第一位であるからこの貿易總額の消長は我國の景氣にも密接な關係を持つてゐるので、これらの減少のないとの觀測は一の好材料ともなるであらう、この貿易總額に示される貿易量の增大は金再禁後の爲替による輸出增に基くのであつて昭和六年の貿易總額二十三億が昨年は五十五億と倍以上の膨脹であり、この結果、貿易統計に示される輸出金額は實際の輸出金額より五分乃至一割少いので、實際の輸出額は更に五千萬圓乃至一億圓を加へるべきであるから昨年の貿易の實勢は何等悲觀すべきではない

海外の經濟狀勢をみるに、昨年フラン貨の平價切下による金本位ブロックの崩壞により全世界が一齊にインフレによる好景氣政策を採用するに至つた事は、廉價なる邦品の輸入が促進される好材料たることは明かである、米國はルーズヴエルトの再選によつて彼一流の購買力增進策を更に繼續するであらうし、昨秋以來好轉を續けてゐる國內景氣は依然三七年に入つても落調を示すことなく、從つて輸出品の筆頭たる生糸は相當の價格に維持されることは疑ひないことで輸出貿易に大きな樂觀材料を與へてゐる

歐洲はスペイン動亂が戰爭に轉ずることにより、貿易にも大きな變化を示すであらうが今直ちにこれが全歐洲を戰渦に投ぜしめるが如きことは全く豫想されない、しかしながら英國の好調、日獨防共協定日伊協定の成立を契機とする兩國との經濟關係の好轉等は本年の貿易に明るい光を投じてゐる

次に擧げるべきものは昨年來より折衝を續けてゐる日濠、日印、日蘭諸通商協定が本年の貿易に頗る喜ぶべき影響を齎すことである

日濠交渉はわが綿布および人絹織物の輸出が最近年の輸出額に比し著しき打擊を受けぬに反し羊毛の協定輸入數量が約半數程度に減じてをるためこれは南阿、南米諸國によつて補充されねばならぬが、これら諸國が從來わが輸出新市場として常に片貿易關係にあり求償主義の立場からこれ等諸國から對日輸出を强要されてゐるので、それだけこの羊毛の買付を片貿易調整に利用し得るといふ好結果を生むのである

日印協定は本年三月に有効期限が終るのであるが、勿論從前通り繼續さるべく、日蘭間も海軍協定の成功の後を受けて好轉すべく期待されてゐる

滿洲に於ける牛の總頭數

滿洲牛及び蒙古牛の全滿における總頭數について見るに從來調査方法により稍もすれば過大視され且つ極めて區々であつた該統計も康德三年版滿洲帝國概覽(國務院情報處編)に據れば一五六萬九千頭と推定されてゐる

此のうち興安四省における統計を蒙政部調査に徵するに從來のそれは餘りに過大視されてゐたかゞある、參考の爲從來の諸調査を綜合しその平均數を既往のものとし、現在各分省公署等よりの報告數とをこゝに對比し其の增減率を左に綜合表示して見る

△興安東西南北四省總計

既往　五八〇、四三〇
現在　三七八、三八七
增減率　減　三五%

(備考)該表の內容を抄錄するに東省の一三二%增を除き南省の七三%減を第一位とし、北省の三四%減、西省二五%減、平均五一%減を示してゐる(蒙政部畜產科三浦四郎氏調)

何故に蒙古牛がかく減少したかを檢討して見るに要するに左記四項に起因するものゝ如くである、即ち

一、耕作地の擴大
二、冬季放牧の飼料缺乏
三、匪賊の跳梁
四、獸疫(牛疫、炭疽、口蹄疾、牛肺疫、)の被害

による

翻つて全滿における牛の總頭數は既に前述せる如く大約一五六萬頭と推定されてゐるが、この內一七萬頭が從來から南滿出廻數量と認められてゐた(滿鐵新京列車區平田軍二郎氏調)しかしながら近年は治安其他の被害諸關係により其の出廻頭數は槪して減少を呈してゐる

因に滿洲國內における牛肉の消費量についてみるに其の集散頭數大約十七萬頭に對し從來七〇%即ち十二萬頭內外を消費してゐるものと推定され、從つて滿洲國の輸出可能頭數は五萬頭內外と稱され其のうち關東州で消費される約二萬數百頭を差引くときは現在の輸出可能頭數は約二萬數千頭となるわけである、いま參考のため最近五ケ年間にわたり全滿各地から輸出されたる頭數を綜合表示せば次の如くである

年次	數量(匹)	價格(國幣圓)
大同元年	六八	三一、三四四
大同二年	六、七六四	一八九、四八九
康德元年	六、六九八	一七九、六七五
康德二年	一七、九九七	四四三、八五三
康德三年(上半)	五九六	三三、六〇四

今や滿洲國產業界は各機關の新規事業計畫と共に著しく世人の注目を惹いてゐるが最近に於ける產業流通部門に屬する諸統計の示す處に據れば廣い意味における農產物と畜產物との間に從來と異る種々の跛行性あることが畜產物輸送の僅小なる事象によつて直ちに看取されるのである

目下滿洲國は遠大なる抱負の下に產業開發五ケ年計畫を樹立しつゝあるが、實業部としては先づ農畜產部門に主力を傾倒せんとする折柄畜牛界の將來も亦多事といはねばならぬ

惟ふに原始的な牧畜經濟から近代的な畜產經濟への推移は財產としての家畜から有生要具としての役用牛へ、而してさらに商品價値法則下の畜產物—乳肉なる生產物への轉移過程を語るものであることをこゝに牢記して筆を擱く

滿洲國の產業開發と交通(上)

滿鐵總裁　松岡洋右

滿洲國建國以來僅に五年、新興滿洲國の躍進は寔に驚異に値し、世界史上稀有の事實なりといひ得る、滿洲國が日本と不可分の關係にあることは今更述ぶるまでもなく、日本が國際聯盟脫退以來國運を賭して東亞安定のため活躍せし意氣精神は今や滿洲國の躍進となつて具現化し世界列國は驚異の眼をもつて東亞新勢力の動向を注視してゐる、而してこの間に處し鐵道を根幹としたる滿洲の交通は滿洲國產業の開發と國防治安の上に偉大なる貢獻をなし來りたるものと確信する、こゝに昭和十二年の新春を迎ふるに當り滿洲國產業開發と交通とに關し些か所懷を述ぶる事の徒事にあらざるを痛感するものである

× ×

滿洲における產業中主要なるものは謂ふまでもなく農業である、而して全住民の八五%は農民であり輸出品の六五%は農產物およびその加工品である、從つて如何に多くの農產物を作出するもこれを海外に輸出するの交通手段に缺くるところあらば、商品としての價値を有せざるにより滿洲には多くの肥沃なる土地を荒廢に委し來つたのである、素より海外輸出農產物の大宗たる大豆は近年の輸出量においては稍振はざるやの感あるも合理的經營による生產コストの切下と新用途の發見を期待し得らるゝ事態においては寧ろ其將來を刮目すべく、然らずとするも滿洲國近時の多角農業方策は棉花の栽培となり小麥の增產となり一は日滿經濟ブロックの確立に資し他は重要生活必需品の輸入防遏ともなるべく、よつて滿洲未耕荒廢地の耕地化は滿洲農產資源開發上重要なる地位を占むる秋に當り濱北、齊北、北黑、圖佳、林密、その他の各鐵道の開通は北滿未耕地をして近き將來において最有用なる農產地たらしむ可くその寄與するところ大なるものがある、即ち北滿の農耕地は約一千九百萬町歩、これに對して既耕地は約六百萬町歩と推定せらるゝをもつて約一千三百萬町歩の廣大なる地域は未耕地として殘されて居るのである、その他調査未だ完全ならざる東部松花江下流地帶、濕地として放置しありたるもの可耕化等々を考慮する時は驚く可き莫大なる面積に達す可くこれ等は前記鐵道および將來敷設せらる可き鐵道ならびに人口の移動移民によつて全滿の穀倉たる可く、すでに濱北、齊北兩線の如きは早くも輸送農產物の激增をみつゝあるは欣快に堪へざるところである、かくの如き農產資源の開發と交通との關係はすでに世界の現示したるところであつて亞細亞、露西亞が西比利亞鐵道の開通によつて歐露の穀倉となり高加索中央亞細亞鐵道の敷設が該地帶の農產を世界商品化したるが如き、米國南北戰爭後の大陸橫斷鐵道の完成がカリフオルニヤその他の耕地の增大を招來し現時カリフオルニヤ農地の素地を作りたるが如きは何れも顯著なる實例に外ならない、然も滿洲の農產たるや海外に輸出せられて國民經濟生活の死命を制するものとせば北滿開發諸鐵道の任務たるや寔に重且つ大なりと謂はざるを得ないのである、而してこれ等の土地に交通手段の與へられ人口の移動移民となり、近代的農作の指導を併せ行はるゝにおいては遠からずして全滿は禾穀穰々名實共に世界の穀倉となり農產年額二百五十萬噸は必然なりと期待せらる(未完)

商況欄(一月六日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊　二一片一六分五
同先限　二一片一六分三
紐育銀塊　四五仙〇〇
孟買銀塊　五二留比八分五
米英爲替　四弗九一仙八分三
米日爲替　二八弗五三仙
米支爲替　二九弗五八仙
スチール株　七七弗四分一
アナゴンダ　五三弗二分一
英日爲替
英支爲替
日印爲替　七七留比〇〇

▲米棉
現物　一二仙九一
一月限　一二仙三三
三月限　一二仙三一
五月限　一二仙一九
七月限　一二仙一〇
十月限　一一仙七二
十二月限　一一仙七六

▲印棉
ブローチ　二三四留比
オームラ　二〇四留比
ベンゴール　一七六留比

▲市俄古小麥
十二月限　一弗三三仙八分七
五月限　一弗一六仙〇〇
七月限　一弗一二仙八分七

▲カルカツタ麻袋
害筋
鐵筋

金銀市況

●上海標金
昨引　二三三、一
本寄　二三四、四

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回賣買　一〇五、二〇
第二回賣買　一〇五、二五
▲倫敦向
第一回賣買　一志三片三二分二
第二回賣買　一六分九
▲紐育向
第一回賣買　二九弗一四分三
第二回賣買　一六分九

▲大連爲替
▲上海向　一〇三、三七五

▲阪神日米爲替
第一回　二八弗二分一八五分

▲阪神日英爲替
第二回　一志二片一六分三二〇〇〇

各地株式市況

▲東京株式(短期)　寄付　高値
東新　一三三、四〇
鐘新　一〇五、三〇
滿鐵新　八七、〇〇
大新　八五、〇〇

▲大阪株式(短期)　寄　引
大新　八六、〇〇
東新　一三三、八〇
鐘新　一〇五、九〇
日產　八二、〇〇
日魯　六六、四〇

▲大連株式(短期)　寄　引
五品新
豆新
鈔新
錢新
東鐵新
滿產新
二新
日鐵新

▲奉天株式(短期)　寄　引
滿取新
東新
大新
日產
五品新
豆新
鐘新
滿毛新
優先新
滿鐵新
同甲
電乙
河拓
東興
滿州
日畜

各地商品市況

▲大阪棉糸　寄付　大引
一月限
二月限
三月限
四月限
五月限
六月限
七月限

▲大阪棉花
當限
先限

▲大阪人絹
當限
先限

各地特產市況

▲大連大豆　寄付　大引
袋入
一月限
二月限
三月限
四月限
五月限
三等現物

●同豆粕
現物
一月限
二月限
三月限
四月限

●同豆油
現物
一月限
二月限
三月限
四月限

新京取引所市況(一月六日前場)(一石値段)

現物　寄　引　出來高
大豆
高粱
小豆
玉蜀黍
大米
包米

●高粱
一月限
二月限

新京區公示第二八號
新京中間區公示第九號
昭和十二年四月當課所管小學校第一學年ニ入學セシムヘキ兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ新京事務局地方課學事係ニ提出セラレ度
昭和十一年十二月二十五日
南滿洲鐵道株式會社
新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者
一、入學申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入學申込書ニハ戸籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入學申込書ハ新京事務局地方課學事係ニ請求セラレ度

范家屯區公示第十三號
昭和十二年四月當課所管范家屯尋常小學校第一學年ニ入學セシムヘキ兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ范家屯派出所ニ提出セラレ度
昭和十一年十二月二十五日
南滿洲鐵道株式會社
新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者
一、入學申込書受付期間自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日
一、入學申込書ニハ戸籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト
一、入學申込書ハ當課范家屯派出所ニ請求セラレ度

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

（本紙朝夕刊十二頁）

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

ソ聯ウラヂオ官憲 又復邦人を不法監禁
商船組合支配人にスパイ嫌疑
杉下總領事嚴重抗議

【東京國通】ソ聯浦鹽官憲はさきに浦鹽商船組合員沖嘉一郎氏に對しスパイの嫌疑により死刑を宣告したが、六日杉下浦鹽總領事よりの公電によると、又復浦鹽において商船組合員の不法拘束事件が發生した、すなはち商船組合浦鹽支店支配人高木大二氏は近く歸國することゝなつたので四日ソ聯官憲に對し旅券の査證を求めるため出頭したところソ聯官憲は突如スパイ嫌疑により同氏を拘束したもので、外務當局では屢次の不法監禁事件に對し日ソ關係上極めて遺憾なりとし、杉下浦鹽總領事を通じ近くソ聯側に嚴重抗議を行はしめることゝなつた

本年度を轉機とする 滿鐵經營の諸改革
注目される新動向

【大連國通】昭和十二年の新春を迎へた滿鐵は昨年秋行はれた劃期的機構大改革によつて第一段の經營方針を締切り第二段の經營方式に從つて運營され、先般の改革に洩された社線關係部門の仕上げが今年中に行はれる筈で今年はまた昨年に劣らずめまぐるしい變革が豫想される、即ち昭和十二年は滿鐵の創業三十周年に當り總經費約三百餘萬圓を計上した記念事業が計畫されさきの機構改革と相俟つて滿鐵は創業卅年を一轉機として新たなる方向に向ふことが豫想され、また今年度は滿洲産業開發五ヶ年計畫の初年度としてこれが實現に着手するがこれにつれて滿鐵經營狀態に種々の變革が豫想される

滿鐵卅周年記念事業 第一回打合會

滿鐵では本年四月一日をもつて創業滿三十周年に相當するので豫算約三百五十萬圓を投じ大々的な滿鐵三十周年記念事業を起す事となり七日午後一時より日滿軍人會館において滿鐵、關東軍、關東局、滿洲國政府の各代表者參集の上第一回記念事業打合會を催すことゝなつた

醫師法、漢醫法 七日公布

滿洲國政府は曩に公布したる醫師法ならびに漢醫法の施行規則を一月七日公布するが、醫師法は全文二十八條より成り、漢醫法は十一條よりなり醫師または漢醫たるべき資格その他を規定してゐる

英より獨伊へ要求
義勇軍禁止覺書への回答

【ロンドン五日發國通】イタリー人義勇兵約一萬がスペイン本土に乘込んだとの確報を接受し、イーデン英外相はスペイン內亂を繞る國際關係の重大化を極度に懸念し五日ボールドウイン首相その他と協議の結果、十二月廿三日獨伊ポルトガル三國政府に通達した義勇軍禁止に關する覺書に對し期限附で獨伊兩國政府の回答を要求するに決定した、イーデン外相は右決定に基き直ちにベルリン駐劄フイリツプス大使、ローマ駐劄ドラモンド大使に訓電し遲くも週末九日までに回答するやう獨伊兩國政府に要請方を指令した

新設土木局 人事決定

滿洲國政府は從來の國道局と民政部土木司を改編し本年より民政部外局として土木局を開設したが、同局の人事は一月四日附をもつて左の如く發令された

任土木局長 敍簡任一等 直木倫太郎
土木局長 直木倫太郎 兼任水力電氣建設局長 敍簡任一等並に大陸科學院長 簡任一等
任水力電氣建設局技正 敍簡任一等 本間德雄
任土木局副局長 敍簡任二等 李叔平
任土木局總務處長 敍簡任二等 鈴木兵一郎
任土木局第一工務處長 敍簡任二等 坂田昌亮
任土木局第二工務處長 敍簡任二等 原口忠次郎

滿鮮水路協定
十二日京城で調印式

鴨綠江を中心とする滿鮮水路協定は既報の如く關係當局者間に於て覺書交換、協定調印に關し準備が進められてゐるが、愈よ十二日京城に於て調印式を擧行することに決定、之がため李交通部大臣、平井出總務司長は滿洲側代表として十日新京發〝ひかり〟で京城に赴くことゝなつた

西安事變善後處置の 國府人事決定

【南京六日發國通】國民政府は西安事變の善後處置を考究中であつたが、五日行政委員會議の結果左の人事を決定した

一、顧祝同を西安行營主任とす
一、王樹常を甘肅、綏靖主任とす
一、孫蔚如を陝西省主席とす
一、楊虎城、于學忠は撤職、離任せしむ

齊市鑛業監督署 新京鑛業監督署に併合

從前北滿の黑河、龍江、濱江三江各省の西北部をその管轄區域とせる齊々哈爾鑛業監督署はその能率を集中的に倍加するため康德四年一月一日附をもつてこれを新京鑛業監督署に併合することになつた、從つて該管轄區域は今後新京鑛業監督署においてこれを管轄し從前の事務はすべて新京監督署がこれを引きつぎかつ處理することゝなつた、なほ一月一日以後において齊々哈爾監督署宛に提出せられたる鑛業に關する願書および其の他の書類についても當分の間は新京監督署宛に提出せられたものとして便宜的に取扱はれることになり、かくて滿洲國の鑛業出願はこれにより急速に處理せられるものと期待される

電力國營法案を 陸軍側絶對支持
政黨の審議未了作戰を牽制

【東京國通】電力國家管理關係法律案の議會における運命は審議未了といふ悲觀的觀測が有力であるが、陸軍當局ではあくまで同法案ならびに豫算案の議會通過を期し絶對支持の態度を堅持してゐる、陸軍としては遞信當局を鞭撻し政黨側の審議未了作戰を封ずるための措置として

一、電力國家管理法案
一、日本電力設備株式會社法案
一、電力特別會計法案及び電氣事業法改正法案

の關係法律案ならびに豫算案の勝はこれを政府提出諸法案の劈頭へ提出し審議期間に充分な餘裕をとり期間短きため審議未了のやむなきに至つたとの口實を與へないやうにするとともに當然參考資料を整備し議事の進行をはかり、合法的反對の方法たる議事サボタージュを牽制すべきであるとしてゐる、しかして政黨側がこれにも拘らず審議を引延ばし關係法案の握り潰しを策する場合はさらに會期延長といふが如き一應の手段を講じ、なほかつ審議に誠意を示さない時は衆議院は議會の職能を自ら否認するものとし、斷乎解散を斷行、廣く民意に待つべしとの强硬な見解さへ一部に稱へられてゐる

民、政各派は反對

【東京國通】電力國營關係法案はいよいよ二十一日休會明けの議會劈頭に提出されることになつてゐるが、既に政界財界各方面において喧しく論議されてゐる問題だけに今議會において增稅案とゝもに論戰の題目になるものと豫想される、しかして本問題に對する各派の態度をみるに、賴母木遞相の出身黨たる民政黨ですら民有國營反對の機運がかなり濃厚で黨議の決定は餘程困難視されてゐる程であり、更に政友會に至つては最近反對機運が漸く露骨に表面化して來てをり、その他の各派においても果して民有國營案支持にまとまるか否か疑問視されてゐる、殊に最近に至り民間電力業者側の反對運動は議會をめざして深刻となり、着々として反對陣容を固めつゝあるので議會における審議の成行は樂觀を許さゞる形勢にある、これに關し政府部內殊に遞信當局においてはかなりの論戰は免れざるも結局多少の修正を附し法案は通過するものとみてをり、殊に賴母木遞相は夙に本案通過のためにはその政治生命を賭けて邁進する決意を固めてゐるので、恐らく法案の根幹に關する妥協修正は斷乎峻拒するものと思はれる

中銀貨幣發行額

康德三年十二月廿七日より四年一月二日までの中銀貨幣發行平均額左の如くである

貨幣發行額	二〇六、〇七三、八四〇圓〇〇
紙幣	一九五、六二九、九七五・〇〇
準備	一一五、七五二、六七一・〇〇
保證	七九、八七七、三〇四・〇〇
鑄幣	一〇、四四三、八六五・〇〇

"稅制改革案に對し 修正あれば採用"
馬場藏相の財政談

【小田原國通】馬場藏相は伊勢神宮、桃山御陵に參拜のため前田鐵相、島田農相と同道五日午後東京驛發列車で西下したが、車中左の如き談話を試みた（寫眞は馬場藏相）

全く個人の資格で伊勢神宮桃山御陵を參拜し七日午後歸京の豫定である、行政機構改革問題は休會明け前に結論を得たいと思つてゐる財政方針演說の內容は前議會の場合とは異り現內閣組閣以來の經過も述べて相當計數にも觸れねばならぬと思つてゐる、財政計畫については

質問 に應じて述べたいと思つてゐる今議會は相當波瀾が多いと覺悟してゐるが、殊に稅制改革案に對する各方面の反響からかなりの障碍は免れないところであらう、各政黨から相當修正を加へられることは考へられるが修正案あれば政府としてもあくまでも原案を固執するものではないしかしその修正のため將來の財政計畫に重大な支障を來す場合は斷乎たる態度をとらねばなるまい、電力問題は衆議院のみならず貴族院においても相當强い反對があるやうだが何とか切拔け得やう、物價騰貴の問題はあの大豫算を編成した當時すでに或る程度は豫想してゐたことであつて、直ちに物價統制をはかるといふことは考へてゐない、しかし將來國民生活の安定を脅かす

程度 にまで騰貴するものとすれば統制といふことも當然考へねばならないが、現在ではその必要はあるまいと思ふ、貿易の現狀については昨年の一億三千萬圓の入超に對して相當悲觀的觀測も行はれてゐるが、この入超額は殆んど羊毛によつて占められ、しかも思惑買ひに過ぎた傾向が强く原因したのでこの現象だけで悲觀するのは早計である、大きな輸入があつたところには同時に大きな輸出が關聯して考へられるし、雜品方面の輸出はまだまだ好調にあるので多少伸張速度が停止するとは思ふが今後悲觀的材料は何も豫想されない、年末金融對策として預金部より多額の短期市場放資を行つたが、今後政府の

方針 としては四十億からの尨大な預金をかゝへてゐる預金部が從來の如く金融市場と絶緣主義をとることは改めねばならぬと思ふ

人事往來

▲高橋馨氏（東洋パルプ）六日來京 都ホテル
▲渡邊秀楠氏（官吏）同

航空往來

▲藤原武彥氏 六日牡丹江へ
▲河田修氏（請負業）同
▲梅澤止次氏（協和會）同奉天へ
▲田中惠次氏 同
▲渡邊幸吉氏 同奉天から
▲長尾統一氏（會社員）同牡丹江から

偶語

日獨防共協定にむくれたソ聯は漁業問題に調印するとかせぬとか▼さんざんばら手を燒かした擧句のはてやつと一年延期の判を捺した▼對ソ漁業問題はこれで一と先づ片付いたかと思つてゐると▼今度は英國上下院有志が組織するインピリアル・ポリシー・グループは▼英國の敵はドイツ、日本、及びソ聯邦であるこの三國は自國の都合次第で隨時戰爭を挑發するだらう▼といふので五名の代表使節團を組織し三月上旬渡米▼大統領や國務長官との間に歐洲乃至極東に戰爭が勃發した場合は英米は共同戰線に出るといふ協調を結ぶ肚らしい▼この情報の眞疑は分らぬが時も時無條約第一年を迎へただけにいろいろのことが考へさせられる▼しばらく沈默の形であつた西部戰線も險悪の度を加へて來た▼今年に持ち越された世界の危機は急ピッチに高潮しつゝある▼九千萬の同胞よ覺悟はよいか

東京オリンピックと 全滿洲の競技界 (B)

陸上競技は國際オリンピック競技中での主體をなす種目でいありまた滿洲においても古い競技歷史を有してゐる、現在では男女小中學校は勿論大學專門學校に至るまでこの競技をやらないところはないくらいで、一般民の運動會や野外慰安會等でも矢張り一番行はれてゐる、南滿洲陸上競技協會の統制下に滿洲（關東州並びに滿鐵附屬地）に於る公認選手權大會を開催するほか、毎年の行事として主なる競技會を擧げると滿鐵運動會、州內外兩選手權大會、州內對抗競技會、鐵路總局運動會（今後は鐵道總局運動會となる）ジュニアー陸上競技選手權大會、マラソン大會等があり、その他滿洲學生聯盟の大學、專門學校競技會や各主要都市の選手權大會が行はれてゐる

これ等を通觀して滿洲の陸上競技界の力はどうかといふとすでに國際並に極東オリンピック大會に代表選手として送られた者も尠くないが、多くは日本內地において養成されたいはゆる既成の選手が職を滿洲に得ての出場であつて滿洲が生み出した選手はゐない

しかしながら日本の選手權大會や代表的競技會に入賞する程度の選手としては數名を見出すことが出來る、つまり選手本位にみれば滿洲の陸上競技はまだ日本內地に比較して數段の低調を示すが、陸上競技の普及性、大衆性としては何等內地と變りはないのであるから、この際適切なる指導獎勵下に競技を志す者の勇奮一番を望まねばならぬ、練習場設備においても決して日本內地に劣るものではないたゞ滿洲では競技シーズンの短いことが選手本位にみた場合不振の理由に擧げ得られるかもしれないが、決して最大の原因をなすものとは思はれない

排球

男女小中學校では遊戲的な競技として盛んに行はれてゐるが、スポーツとして競技本位にやることは比較的少い、大衆競技でないのはこの競技が創設されてより四十年足らずであり、日本に傳つたのは大正二三年頃であるから二十年近くの歷史しかないわけで、滿洲での競技歷史は十四、五年の淺い土臺しか出來てゐない故である、また一つは團體競技であるだけにチームとしての集りが困難な點もあり、手輕にやれないことなども原因してゐる、近年は漸次盛んになりつゝあり、特に女學校には盛んである

この種目も技倆においては遙かに日本內地に劣り代表チームを送る程の進境はまづ望めないが、滿洲國は球技國といはれるほどこの種競技の普及してゐる國であるからこれとの交驩競技が盛んに行はれるようになつたら將來は相當强力なチームも生れ出る可能性はある、毎年全滿の選手權大會が開催されてゐる

籠球

排球と殆んど同じ傾向にあり同樣の現勢を辿つてゐるがこれは室內競技が可能であるから割合に學校方面に普及されてゐる、選手權大會も行はれてゐる、排球よりは幾分個人としての面白味もあり、又遊戲的には規定々員（五名）に足らなくともやつてゐる將來性としても排球と同樣の期待がかけられる

スケート

冬季の運動として最も大衆性があり普及されてゐるだけに競技者にも優秀な者を輩出してゐる滿洲の冬季スポーツとしては一番適したものである、日本內地に比較すればはるかに優秀競技者を出し得る好條件を備へてゐる、スケートが滿洲に輸入されたのはこゝ廿數年前の事であり、スケート競技がはじまつたのは日本が大正十年前後からであるから滿洲でも大正末期からである、この點からみるとスケート競技の躍進ぶりは目覺しいものがある、スピードスケートでは昨年ガルミッシュの冬季オリンピックに於ては一躍滿洲のスケート競技が世界的に認められた、現在日本のスケート選手の中樞をなすものは滿洲代表である、就中奉天、安東撫順は現在最も優秀な選手を輩出してゐる

男子の河村、安達、三代、木谷兄弟、大澤、濱、手島、平田、阿部、山下等々これに今は內地に在るが滿洲で巢立つた者に南洞、石原等餘りにも有名だ、女子においては瀧瀨、村山姉妹、岩田、繩手、倉田の諸選手がある、特に滿洲のスケート界が世界の王座を目指して精進するに當りよき指導者として又世話役として全身を打込んでゐる奉天木谷辰已氏の存在は滿洲スケート界を今日あらしめた大恩人であると同時に將來を期して頗る力强いものがある、國際競技界で最も有望であり有力な種目であるだけ愼重な用意と一段の努力をもつて準備に當るべきで選手たらんと志す者は勿論一般人も健全なる多季體育鍛練を目標に盛んに活躍すべきで、優秀選手といふものは大衆性があればあるだけ生み出されるものである

この競技に大くの期待をかけ多季オリンピック目指す競技者への聲援を惜まない

競技會は全滿氷上選手權をはじめ各都市毎に地方選手權大會が開かれ又各級學校としても夫々競技會が開かれてゐる

社説

日本外交の展望

明朗な展開を待望する

一

新しい年のはじめに於いて日本が當面してゐる外交上の諸問題に展望を試みる。あれほど喧しく叫ばれたところのいはゆる一九三五―三六年の危機が乘り切られたことに間違ひはない、しかし現に、日本の對外關係の全局面に梗塞狀態が發見されることも事實である。新年劈頭、諸家の論議が殆んど大部分外交の問題を取り上げてゐたのをわれらは見出す、それらの論說に於いてもかなりに批判的な、建設的な見解が讀み取られたのは欣ばしいことであつた。

二

新年度の外交工作として政府が最も重點を置いてゐるのはソ聯ならびに中華民國に對する關係を中核とする大陸政策の强化遂行であるといふ。すなはち對ソ聯關係に於いては、日獨防共協定成立後惡化したソ聯の輿論の鎭靜を待つて懸案の解決に乘り出すといふのである。それには滿ソ國境に於ける平和機構の確立に關して更に積極的交渉を開始する、漁業條約改訂交渉には既定方針を堅持して北洋に於けるわが權益の圓滿な運行を期することが擧げられてゐる前者の國境問題の明朗な解決は滿洲國としても當然これを待望するところであり、交渉の展開には深甚な關心が持たれねばならぬであらう。次に中華民國に對しては、政治的調整主義の失敗を確認し、經濟合作に重點を置くところの對支經濟國策の樹立に全力を傾倒する。北支に對する既定國策の遂行に邁進するのは勿論であるが平和的手段による北支特殊化の實現を期しこの交渉を南京政權と行ふ既定方針を持續、その聯蘇容共的態度及び歐米依據主義に對しては徹底的是正を要求する方針で進むといふのである。膠着狀態からこの一歩前進實現までにはなほジグザグの行程を辿らねばならぬかとも思はれる。われらは期待して今後の進行を見やう。

三

對英關係に於ける經濟的調整の問題、對米關係に於ける兩國の平和政策の交錯、その他世界市場に於ける原料の公平な分配、市場の自由開放を中樞とする通商政策の確立を目標に經濟的武裝とも稱されるやうな通商障碍を撤廢を要求すること、停頓中の日印、日埃、日蘭などの諸通商交渉の局面打開を期すること等、指摘出來る課題は數多い。外交の問題が眞に效果的に解決されるためには、內に於ける全體一致の結束が無ければならぬ。近時若干の問題について國民が知らされないまゝに取り殘される如き事情に置かれたことは何と言つても變則であつた。われわれはそこにも常に明朗性あれと望む。

激化する左右兩翼の對立と帝國の立場(二)

陸軍省新聞班長 陸軍步兵大佐 秦彦三郎

二、スペインにおける人民戰線內閣の成立と右翼の反擊

米國との國交回復、國際聯盟加入、フランスとの相互援助條約締結等により列强の强壓を避けつゝ國力充實をはかつたソ聯は前述の如くコミンテルンを動員して積極的に各國共產黨その他に働きかけ、いはゆる人民戰線結成の新戰術下にファッショ打倒の旗幟を高揚したがこの政策は見事に適中してフランスおよびスペインに人民戰線內閣の成立をみるに至つた、しかるにスペインにおける人民戰線內閣は總選擧の壓倒的勝利に眩惑し、又極左分子に引づられて極端なる急進的な革命的社會政策を斷行したので、早くもファッショ勢力の反擊を受け一進一退の戰況を繰返してゐたが、革命軍の作戰着々效を奏し人民戰線軍はマドリッド市に壓縮せられ、スペイン內亂も將に大詰めに近づいてきた、スペイン內亂における左右兩翼の抗爭もさることながらこの內亂をめぐつて展開せられたものは共產主義ソ聯と獨伊ファシスト、ブロックの對立が益々露骨化せられたことであつた、この內亂を中心として捲き起された國際的波紋はロンドンにおける內亂不干渉委員會の情勢に如實に反映し、ソ聯と獨伊三國の對立となつて現はれ、ソ聯は獨伊の革命軍援助を攻擊して獨伊葡三國の協約違反を暴露して各國內就中左翼諸派の反ファッショ機運を釀成せんとしたるも却つて逆用せられて世界革命煽動の意圖ありと反擊せられ、ソ聯こそ婦人兒童救濟に名を藉り、人民戰線軍に軍需品を輸送するものなりと反駁せられた、なほ新軍その他の傳ふるところによればスペイン人民戰線事實上の首領はソ大使ローゼンベルグにして軍指揮官は同大使館附武官ゴレヴ少將なりとし、ソ聯內におけるスペイン人民政府軍擁護は甚だ盛んにして義金食料品の强制的募集をなし、十月九日より廿日までの間には十一隻の船にて軍需品を送つたといふ情報も傳へられてゐる、ソ聯は「委員會脫退」「行動の自由」をもつて威嚇せるも「ソ聯戰意なし」とみすかされてこのゼスチュアは不成功に終り、現在まで對立抗爭の狀態にある

この兩者の反目は實にコムミニズムの攻勢に對するファツシズムの思想的相剋の一表現であるが、更に兩者のスペインに對する干渉には切實なる實質的利害が重要なる因子として作用しあることを見逃してはならぬ

これをソ聯側からみれば、スペインにおける人民戰線內閣の存續は、フランスにおけると、前述コミンテルンの指令の實現、即ちファッシズムに對する防壁の構成であつて、ソ、佛、西を連ね之にチエッコ及びルーマニヤを加へた一大合縱陣によりファシストブロックに對抗せんとするのである、又スペイン人民戰線政府の確立は同國赤化の第一階梯にしてソ聯の根本的對外政策の達成とみるべく、さらにソ、西兩國の貿易が促進せられ經濟的にも利益である

つぎにこれを獨伊側からみれば、スペインにファシスト政權が實現すれば、これと提携してフランス包圍陣を構成することが出來、イタリーとしてはこの右翼政權を通じて西地中海に勢力を擴張し、英の覇權を牽制することが出來るので、彼等が右翼政權の出現を望み、すでに革命政府を正式承認するに至つたのは自然である

鹽賣下價格表

地區	地名	價格	
安東	安東	五、四五	七、四〇
	莊河	五、四五	—
	大孤山	五、四五	—
	鳳城	五、一〇	—
	長川河	五、八〇	—
	蒲石河	五、九〇	—
	外岔溝	五、〇〇	—
	寛甸	五、八〇	—
錦縣	輯安	六、三五	—
	臨江	六、九〇	—
	長白	六、九〇	—
	錦縣	五、七〇	七、〇〇
	朝陽	五、九五	—
	新立屯	五、八〇	—
	彰武	五、九〇	—
	義縣	五、七五	—
	天橋廠	五、四〇	—
	綏中	五、五五	—
	盤山	五、六五	—
	廠子溝	五、四〇	—
新京	新京	六、一五	七、四〇
	扶餘	六、四〇	—
	公主嶺	六、〇五	—
	三岔河	六、三五	—
	范家屯	六、一〇	—
	農安	六、三五	—
	伊通	六、四〇	—
	長嶺	六、七五	—
	懷德	六、三〇	—
吉林	吉林	六、三五	七、九〇
	九台	六、三五	—
延吉	磐石	六、三五	八、四五
	敦化	六、六五	—
	樺甸	六、八五	—
	蛟河	六、五〇	—
	延吉	六、九〇	八、三五
	琿春	七、二〇	八、六五
	圖們	六、九〇	八、五〇
	汪清	七、三〇	—
	和龍	六、九五	八、五〇
	龍井	六、九〇	八、四五
哈爾濱	三道溝	七、〇〇	—
	哈爾濱	六、三〇	七、九五
	綏化	六、七〇	—
	雙城	六、四五	—
	滿溝	六、六〇	—
	海倫	六、八〇	—
	五常	六、七〇	—
	一面坡	六、七五	—
	安達	六、七〇	—
牡丹江	豐樂鎭	七、〇〇	—
	珠河	六、九五	—
	牡丹江	七、〇〇	八、三五
	梨樹鎭	七、三〇	九、六〇
	密山	七、三〇	九、六〇
	綏芬河	七、三〇	九、〇〇
佳木斯	虎林	七、九五	—
	佳木斯	七、二〇	—
	富錦	七、三〇	—
	饒河	七、九五	—
	撫遠	七、九五	—
	勃利	七、二〇	—
齊々哈爾	依蘭	七、一五	—
	通河	七、〇五	八、三五
	齊々哈爾	六、八五	—
	克山	七、〇五	—
	黑河	七、三〇	九、一五
	洮南	六、三〇	—
	海拉爾(並上)	五、〇五	七、六〇
	訥河	七、〇〇	—
	王爺廟	六、一五	—
	泰來	六、七〇	八、七五
	拜泉	七、三〇	—
	大賚	六、五〇	—
	昂々溪	六、九五	—
	瞻榆	七、一五	—
	六戸	六、二五	—
	突泉	六、〇五	—
	高力板	六、一〇	—
	索倫	六、一五	—
承德	承德	七、二五	八、三五
	平泉	六、二五	—
	凌源	六、一五	—
	圍場	七、二五	—
	赤峰	六、四〇	—
	林西	五、一五	—
	大板	五、五〇	八、二〇
	林東	五、二五	—
	經棚	五、二五	—
	豐寧	七、二五	—
	大閣鎭	七、二五	—
	隆化	七、二五	—
	全寧	六、二〇	—

全滿警務廳長會議

一月五日から

治法撤廢後に萬全を期す

民政部警務司では康德四年度第一回全滿警務廳長會議を一月五日より二日間に亙つて日滿軍人會館に於て開催することに決定、六日夫々通牒を發したが、今回の會議に於て大島警務司長は

一、治外法權撤廢に伴ふ警察權移讓に對する根本的方針
二、康德四年度實行豫算に對する具體的方針の說明
三、今年度日系警察官一千名を採用し治安不良地區に配置するの件

に就き指示、諮問事項を中心に本年度警務司の大綱を述べる筈で、なほ優秀滿系警察官の表彰方法に關しても意見を發表する筈である

聯盟機構の崩壞と「强力政策」の再現

米前國務長官 ヘンリー・スチムソン

一九三一年九月、日本軍が滿洲に於る支那政權を襲擊したのは、各國民が世界大戰の苦い經驗に鑑みて打ち建てた戰爭制限ならびに阻止の新機構に對する最初の一大打擊であつた、國際聯盟規約とパリ不戰協約と、極東に關する九國條約とは、戰爭と平和との重大懸案を處理するための三大機構だが、就中聯盟は世界大多數の國々が、よつてもつて戰爭の勃發擴大を阻止しようとする媒體である――米國前國務長官ヘンリー・スチムソン――

スチムソン前國務長官は人も知る「不承認政策」の提唱者近著「極東の危機」において依然國際聯盟の提灯を持つて御座るが「不承認政策」は相次ぐ既成事實の前に解消しつかり箔が剝げて了つたといふのが實情でなからうか

□

抑々といつては大げさだが、米國上院が故ウイルソン大統領に煮え湯を飲ませ、參加を拒否した當時から聯盟の將來は封ぜられてゐたといつていゝ、爾來十餘年曲りなりにも成育して來たが「戰爭制限」上「現狀維持」のからくりに利用される許り、聯盟總會は規約第十九條で「適用不能となつた條約の再審議または繼續の結果世界の平和を危殆に陷れるやうな國際狀態の審議」を提言出來る筈だが、この條文は高閣に束ねられたまゝ一度もお天道樣にお目にかゝつたことがない「恒久平和」といふと寔に立派に聞えるが「恒久平和」の名においてヴエルサイユ體制を維持し何時までも戰敗諸國を抑へつけやうといふのだらう、戰敗諸國の國力が回復するとゝもに國際聯盟が方々でボロを出したのも無理がない「日本軍の襲擊」に續いてドイツ政府は軍備均等權を要求してはねられると同時に、聯盟と一般國際軍縮會議に三下り半を叩きつけて了つた、イタリア政府は聯盟十四ヶ國の制裁をせゝら笑ひながら、シバの女王以來の傳統を誇るエチオピア帝國を一息に嚙み下して了つたそしてムッソリーニ首相の言ひ草がいゝ

聯盟總會は制裁だの何のとギヤアギヤアいつてゐるが古い規約を後生大事にしてゐる間に、世間は遠慮なく進んで行くから、新しい聯盟會館は古物展覽會になつて了ふよ

□

古物展覽會で平和を維持することは難しい何とか建て直しをせねばなるまいといふので聯盟廿八ヶ國代表が改組委員會を組織し、何遍も相談を重ねてゐるが小田原評定ならぬジュネーヴ評定で纏る見込みは到底ない、スペイン內亂などでは英佛兩國代表まで「聯盟の介入」が無用有害だとの建前から嫌々理事會は開いたものゝ全く型ばかりで主題をそつくり聯盟とは關係のない不干渉委員會へお預けして了つたではないか

□

やかましい理窟をならべるなら人類は未だ職盟によつて仲よく暮すほど進化してゐないといへよう、國內では殺人は極刑に處せられるが、國家間の爭鬪においては、殺人は天下御免の常道だ「國際團體」といふ我利我利妄者の寄合世帶に、突然高遠の理想を實施しても結局馬の耳に念佛に終つて了ふのは致し方あるまいウイーン會議の決定が何年間歐洲を支配出來たか知らないがヴエルサイユ會議の結果は最早歐洲を支配する力がない結局大戰前の「强力政策」の再現を見るに至つたのは寧ろ必然の歸趨であらう

□

ウイルソン大統領の「會議外交」はロンドン軍縮會議を最後の成果として、同じくロンドン經濟會議以來すつかり信用を失墜して了つた代りに出て來たのが秘密外交だ、ヒットラー總統がヴエネツイヤに乘込みムッソリーニ首相と謀議を凝らしたのを手始めに近來歐洲各國代表の來往が何と頻繁な事よ、會談後必ずコムミユニケが出るが、コムミユニケは會談の實體を蔽ふ煙幕に過ぎない秘密外交の所產は軍事同盟だ、ナチス政權の擡頭に脅えたフランス前外相ピエル・ラヴアル氏は從來の行き掛りをさらりと棄て、遙にソヴイエト政府と相互援助條約を締結したが相互援助は要するに攻守同盟の別名に外ならぬ、更にチエッコスロヴアキア、ポーランド各國政府とも頻りに盟邦關係の强化に努力してゐるが「動あれば必ず反動あり」物理學の根本原則をその儘に獨伊墺洪四ヶ國も對抗的な盟邦關係を確立し、宛然大戰前の「勢力均衡」が再現されるに至つた、一衣帶水の英國政府も近代兵器の進步により距離の要因が殆ど無視されるに至つた結果、國防の第一線はライン河上に在ると叫んで事實上フランス、オランダ、ベルギー三國との共同戰線を闡明した、フランス外相イヴオン・デルボス氏は過般下院で今更らしく英白兩國政府との援助協定案を提言したが「作戰協定」の名に於て三國間に緊密な軍事的連絡が出來てゐることはいふまでもない、獨伊兩國を樞軸とする現狀打破乃至ファッショブロックと、英佛ソ三國を盟主とする現狀維持派乃至民主主義ブロックとの對立は、同盟體制の强化とともに逐次尖銳化して行かう、ソヴイエト政府當局は、スペイン內亂を契機として第二次世界大戰がもう始まつてゐると斷定してゐる位だから、大戰の危險が刻々迫つて來てゐることは蔽ひ難い、一九三七年の年頭歐洲政局の見透しは氣の毒乍らお先き眞暗だ

商況欄 (一月六日後場)

●上海標金 前引 二三四、五
●上海爲替 日本向 第一回賣買 [illegible]
倫敦向 第一回賣買 一志三片 [illegible]
紐育向 第一回賣買 二九弗 [illegible]

株式相場

▲大連株式(短期) [illegible]

手形交換高 (六日)

金票 [illegible] 國幣 [illegible]

新京取引市況

現物(一月六日後場)(一石値段) 大豆 高粱 小豆 玉蜀黍 [illegible]
定期(混合百斤値段) 大豆 一月限 二月限 高粱 [illegible]

鮮魚小賣相場

(百匁に付き)(六日) 最高 最低

品名	最高	最低
活鯛	[illegible]	[illegible]

野菜小賣相場

(百匁に付き)(六日) 最高 最低

品名	最高	最低
[illegible]	[illegible]	[illegible]

日滿の渾然融合し 共存同榮を期待

朝鮮總督 南次郎

歳華改まり玆に昭和第十二の新春を迎へ、疆內二千三百萬同胞と共に、謹みて 聖壽の萬歳を祝し、皇運の隆昌を祈り奉る。

皇國の前途は上 聖天子の御稜威と、下國民の一致協力に依り、光輝彌灼 たるもの在り、肇國の大義を宇內に宣揚するの步武日と共に新なるは寔に同慶の極みである。

×

翻て世界の狀勢を概觀するに、必ずしも靜 和平ならず歐洲の政局は殊に暗澹として將來の形勢遽に豫測し難きの情況に在る。乃ち伊、エ戰爭の結末は、國際聯盟の機能を益す減殺し中立小國の不安は增大して國際政局のブロック化を招來せざれば已まぬ趨勢となつた。コミンテルンの人民戰線主義による世界赤化策と、澎湃たる國民主義思潮との對立は、偶々スペイン內亂を機端として其の抗爭情勢を激化し、餘波は遂に歐洲をして獨、伊、を中心とする諸小邦と、佛蘇を中心とする諸小邦の連衡をも見んとするの形勢を示してゐる。此の時に當り隣邦支那は依然として內爭の絕間なく政局常に不安、民衆は塗炭に苦み國力日に減退す。加ふるに最近西安に赤化軍閥の兵變ありて今後の事態は愈よ益す混沌たるものあるを想はしむ。

×

蓋し恒久平和の實現が人類究竟の理想たるに拘らず、事變に於ては國際間の紛爭軋轢意に熄むことなく、地球上資源配分の偏倚に對する不滿多く、經濟的利害の錯綜、背反あり、加之共產的思想による世界制覇を企圖せんとする策謀の伏在する戰爭の脅威は容易に之を廻避し難いのであつて、二十年前の大戰々果の收め得ざりし眞の平和法則が世界に樹立せらるるの日は、尙前途遼遠なるべきを思はしむるのである。

×

我が帝國は此の險惡なる情勢に處し、世界の禍亂より東亞の安寧を護るの使命に邁進して滿洲國と提携し東洋平和の基礎を確立し更に支那の自覺を促し其國民の安寧幸福を熱望しつつあり又曩には日獨防共協定を締結し、以て恒久平和の新機構を確立するに努めつつあるが、畢竟此の使命の遂行は理論、口頭禪の能くするところにあらずして一に國威民力の伸長充實によるの外なく、所謂廣義國防力の完成こそは、戰爭の不安を克服して克く平和を擁護する、眞實無二の方途なるを知らねばならぬ。

×

今や皇國は擧つて庶政の一新、民力の培養、國防の充實に、上下一心、以て非常時局の對應に努力を傾注しなければならぬ秋である、蓋し玆數年間の國民的精進の成果如何は將來の國運消長に重大なる決定を與ふるものなるべきを國民は深く肝銘しなければならぬ。

晩近社會の情態益す複雜となり利害の錯綜、觀念の相剋漸く深刻ならんとするの傾向にあり、爲に世人の生活信念及態度の根柢に動搖を生じ、動もすれば個人的、功利的、唯物的傾向に墮して或は安を偸み、或は爭端を繁くするの風潮、滔々俗をなさんとするものあるは、具眼の士の最も憂苦とするところである。

×

今上天皇陛下は、朝見式の勅語に於て

晩近世態漸く以て推移し思想は動もすれば趣舍相異るあり經濟は時に利害同じからさるあり此れ宜しく眼を國家の大局に着け擧國一體共存共榮を之れ圖り國本を不拔に培ひ民族を無疆に蕃くし以て維新の宏謨を顯揚せんことを努むへし

と宣はせられ、國民として常に國家の大局に着眼し「擧國一體」「共存共榮」の大乘的精神を堅持することが、思想の亂離、經濟の杵格を克服する所以の途たるを昭示し給ふたのである。

×

惟ふに還は 皇室を以て宗家とし、天皇を以て首長とする一體の傳統、世界に比儔なき我が國體の本義に照して拜察するとき、聖旨の存する洵に高遠なるを念はざるを得ぬのである。

擧國一體と謂ひ、共存共榮と謂ふ、之れ當に我々國民の生活信條であり、實踐道德である、此の信條、此の道德の昂揚さるるところ、階級の爭因は解消に先んじ、醇厚中正の思想と風習とは維持されて社會の紐帶、國家の組織益鞏きを加ふることを確信するのである。要は我が尊嚴なる國體の精髓を認識して國民道德の本源を知り、且つ此の大信條を日常不斷の間に身を以て實踐躬行するにあることを銘記せねばならぬ

×

予は昨夏朝鮮總督の大命を拜して任に むに當り、特に內外時局の大なるに鑑み、國民精神の陶冶と、經濟實質の強化、即ち人的、物的の兩面に互つて其の十全を期し、以て統理の理想を顯現すべきを疆內に宣したのであるが、其主旨は我半島の施政に於て皇道國家の一翼たる內容を擴充し、且は日滿一體の國是に副ひ鮮滿一如の精神を以て國運進展に寄與せんとする予が覺悟の一端を披瀝したるに外ならぬ。而して就任後半歳、大凡疆內の實情は之を審にするを得たが、まづ物的方面に於て朝鮮の地域は極めて饒多なる資源を內藏し、開發の工夫努力の如何に依つて更に大に國民經濟の振興に貢獻し得ると共に、日滿ブロックの構成に重要なる負荷を爲すべき可能力あること明かであつて、昨秋開催せる朝鮮產業經濟調査會、及治水調査委員會の答申の如きは將來之が完成の上に極めて有意義なる參考資料となり予が施政の內に十分に織込まるるであらう、人的方面に於ては半島の衆庶遺るところなく齊しく其の心性を陶冶し知能を發揮し擧げて以て眞個皇國民たるの資質を體得せしむることを切要とする。之に付て先づ考ふべきは教育の擴充徹底であるが、思ふに地方全般に互る新產業の興起と、農山漁村振興運動の進展等による民衆經濟力の向上と彼此相應じて、苟くも初等教育を受くるの機會に均霑せざるが如き者一人も之無きを期して、文化の惠澤を普く民衆に及ぼすべきである。然れ共半島に於ける物心兩面の開拓進展は、單り官の施設のみの能くする所でなく、眞に官民の一致協力に依つてのみ初めて庶幾し得べきであるから、文武兩面の關係者も教育者も宗教家も、產業經濟人も、地方先覺者も、凡ゆる階層部門に互り苟くも時局重大を知つて國家社會を念とする人々の蹶起提攜により、行政機能の及ばざる所を補ふて向上開發の努力を進めねばならぬ。

×

これ軈て朝鮮の第二四半世紀に於ける統治理想を具現する所以であり帝國の重要なる一域として相率ひて國家に奉じ世界情勢に對處する所以である。

尙我が半島於ける各般の施設經營上須臾も忽諸に附すべからざるは、接壤滿洲國との關係である。帝國本來の使命の達成、日滿一體の理想實現の爲め、我が朝鮮の地理的經濟的特殊地位に鑑み、常に鮮滿一如の精神を以て其の指標と爲すべきことは、予の屢次強調せるところ、又施策の上に於て著々實行に移しつゝあるところにして、將來共に兩者は渾然融合、共存共榮の實を擧ぐるを以て念と爲すを要し、一般人士の認識が速かに進んで玆に至らんことを期待するものである。

予は居常不言實行を座右銘とする者であるが、光輝ある年頭、特に時局に關聯して素懷の一端を述べ疆內官民諸君に感を頒つて、その自重と自奮とを望む次第である。

各人最大の能力を發揮すべき秋

朝鮮總督府政務總監 大野緑一郎

昭和丁丑の年頭、東拜して大內山の瑞色を想ひ、伏して皇室の御彌榮を祝し奉る

我が朝鮮は始政以來二十七年、玆に所謂第二四半世紀の第二年を迎へた譯であるが、今既往の事歴を回想し、將來の飛躍を想望するとき感懷の湧然たるものがある

×

世界各方面に於ける外地行政に尠からぬ苦楚を嘗め來つたヨーロッパの各國は、我が朝鮮に於ける施政の結果に寧ろ危惧の念を抱き、幾多の悲觀的豫測も行はれたのであるが、事實は之を全く杞憂に終らしめ、却つて世界に類例なき外治の範を示すに至つたことは、抑々何を意味するものであるか、此れ一に我が列聖の御稜威に依るものなること申すも畏き極みである。四表に光被する御聖德の下に於て宇內に宣揚せんとする皇道政治の理想は、夫の覇道と強權とに依る歐米流の植民地行政と全く其の範疇を異にするのである、而して此の大精神に融合して能く隆運の今日を築いた半島同胞の資質も亦偉なりと謂はねばならない。吾人は前途に輝かしき理想を掲げてその完成への道程に立つて普く官民諸君と共に決意の自ら新なるものなきを得ない

朝鮮經濟が原始產業の段階から、新時代產業の段階に移行し、玆に農工併進の時期を迎へたことは顯著なる事實であつて、此の情勢こそは半島の將來に一層の光明を齎すものであると思ふ。朝鮮に於ては農業改善の餘地尙ほ甚だ多いとはいへ、苟も帝國產業經濟の重要なる一翼を擔任する上に於て固より此の部門のみに跼蹐すべきでない。幸にして朝鮮の處女的資源は今開發の時に遭ひ、春來つて花一時に發するの趣を以て國策の要求に副ふ各種多彩なる工業が群り起り、世界文明國が何れも失業群の多きに惱まされざるなき時代にあつて、勞資共に榮へ、駸々として興隆の一路を躍進するに至つたことはまさに天惠の斯土に厚きを想ふべきであらう

×

農山漁村の振興運動は經濟更生運動たるのみならず、國民的倫理運動として益々其伸展を望むものであるが、他面昨夏遭遇せる風水害の教訓により、特に治山治水の急要を感じ、乃ち拔本塞源の大策を劃し民人の生活安定を圖ることとなつたが、之が完成は殊に農民の幸福に寄與するところ蓋し鮮少ならざるものがあらう、民衆の自發向上の意氣と相俟つて一般の本事業の遂行に對する熱意ある協力を望んで已まない

×

文化、產業の開發、實に其の根幹は教育に在る。今や半島の教育は其の進展頗る目覺ましく、一面一校計畫既に完了し、更に倍加擴充計畫なり中等教育亦將來に對する大方針の決定を見、玆に一期を劃して新たなる大飛躍の鵬程に上つたのである。然も尙ほ其の他幾多施設を要する重要案件があるから、此等齊しく官民一致の努力精進に俟たねばならぬ

×

現代の世相を眺め特に朝鮮の現狀に稽ふるとき、社會事業の分任すべき領野の頗る廣汎にして且つ之が急施の要切なるを認めざるを得ない、朝鮮の社會には由來宗族相扶けの觀念があり、その精神が宗族より外に向つては些か薄きの憾みはあつたが、近時天災地殃の慘に對し進んで義捐の擧に出づる者多く、隣保相助の美はしき事例亦尠なからざるは半島に於ける人道的精神の素地充分なるを思はしめ、社會連帶思想の健在を證するものであつて、社會事業振興の官の施設と呼應して民間にも盛なる風潮の起らんことを期待するものである

×

鮮滿一如は南總督閣下の力強く提唱せらるゝところであつて、實に東洋和平の重要なる鍵鑰である。而して半島の民力が漸を以て充實し雄偉なる文化の建設が着々その步を進むることは、他面必然に滿洲國の成育に側面的の貢獻をなし得る所以であつて、かくて日滿一體關係の上に占むる半島の使命はやがて完全に果され得べきを信ずるのである

今や世界は危機の前夜にあり、世界の心臟の異常なる搏動は脉々と感知せられるのである。同胞一齊に相携えて步武堂々、國家を衞り國運の彌榮を期する爲に、各人最大の能力を發揮すべき時が來たことを知らねばならぬ

年頭、若干の感想を述べ、疆內の官民各位と共に志を尙くし相扺礪せんこと欲をするものである

家庭

面白い 冬の趣味
雪の赤外寫眞
素人でも出來る ―寫し方の注意―

赤外寫眞は難しいと考へてやらぬ人が多い樣ですが、極めて簡單です、先づ赤のフイルターと赤外線用の乾板かフイルムがあれば、どんな簡單な寫眞機でも撮れます。普通の人でも餘り

日光が強い 時とかその他の場合、黄色や、綠色のフイルターを用ゐてゐますが、それを赤のフイルターにすることです、赤のフイルターだと赤い色や赤外線を通して撮すことが出來るのです。

一體普通赤外線と言つてゐるのを嚴密に言へば赤末線と赤外線に分けられます。赤末線といふのは私等の肉眼では到底見えません。

例へば虹ですが、色々の色のうち一番遠くにある赤は肉眼に見えますが、その先に赤末線といふ肉眼に見えないのがあるのです。そこまでも通して撮すといふのを、いはゆる赤外線寫眞といつてゐるのですから遠くの方でとても

肉眼などで は見えないところでも赤外線寫眞でやればはつきり寫ります、この場合望遠レンズを特別に用ゐなくても、普通の寫眞機に赤外線用の乾板かフイルターをレンズにかけ、距離を無限大にすれば誰にでも撮せます。

又近くを撮すにはピントを合はす樣に合はしてその上赤外線の乾板又はフイルムを用ゐ、赤のフイルターをかけて撮しますと、趣の變つた結果が得られます。どういふ風に變るかといひますと、新綠の木の葉などは白く撮り、殊に活葉樹なんかはかなり白く出ます。それから日光の當るところと當らぬところの對照がはつきりし、人物では

人間の顏は 白く出ます、印度人のやうな黒い人もこれで撮せば白人種のやうになります。これは人間の身體から皮膚から赤外線を發散してゐるのが、この寫眞にかゝると、それを通して寫るからかうなるのでせう又髪の毛は黒くなります。これは毛髪が赤外線を吸收しないからでせう。

ですから御婦人なんかで寫眞をとると顏は美しく見えます、髪の毛は黒く出ますから。たゞ口紅まで白くなるから、だから若し美人に寫すなら口紅は赤黒いものをつければよいかと思ひます。

又ヒゲを剃つたあとを撮ると毛根まで寫ります一體赤外寫眞はフイルターをかける結果どうしても露出が長いものです。現像は他の

普通の寫眞 なら赤の電燈で差支ないがこの赤外線だけは眞暗なところでないとだめです。

だからタンク現象か、指定現像液を用ゐて何分間かでやるといふ方法をとればよいのです。安全燈などいふ濃綠色のものもあるが、私はそれを用ゐたことがないからよく知りません。

次に雪山の撮り方ですが、この場合は必ずフイルター（綠か黄色）をかけることが大切です。フイルターをかけなければ雪の表面がよく出ない恐れがあり、失敗します。ところがフイルタをつけてやればよく出る殊に雪の上に立つてゐる人物を撮る時は人物はくつきり出て雪の上もキラキラせず、極めて軟かい感じがする樣に撮れます。

露出の工合 はアグフアの四・五のフイルターを用ゐF八位にして五十分の一位に切ればよいのです（勿論天氣のよい時）私はシヤッターを大體一定にして置いて朝とか晩の樣に、やゝ暗い時には絞りを開けるといふ風にしてゐるが、失敗は余りしません。次に現像――私は現像液をやゝ薄めにして長くつけるといふ方法を取つてゐますが、結果はよいやうです。その他別に難しいことはない樣です。

お料理獻立
慈姑のきんとん

お口取に無くてはならぬきんとんも栗は季節はづれになりますし、くわゐもなかなか美味しうございますからこれを使ひましたきんとんを申上げませう。

【材料】五人前
慈姑　一寸位のもの十五ケ
さつま芋　百匁
砂糖　百匁
食鹽　茶匙一杯

くわゐを茹でゝ鹽味をつけておき、おさつも煮て裏ごしとし別鍋にお砂糖を溶かしてくわゐを入れて一度出し、おさつを入れ練り、衣をつくり又くわゐを入れます。

初孫に屠蘇を呑まして叱られる

祖父よりも勳章の多い孫の服。

ラヂオ

けふの番組
（M・T・C・Y 新京放送局）七日（木曜日）

朝
七・三〇　聖訓謹話（東京）五ケ條御誓文（一）德富猪一郎
八・一〇　氣象通報・入港船のお知らせ（大連）
八・一五　中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
八・四〇　朝の音樂（大連）
九・三〇　經濟市況（東京）

晝
九・四五　建國體操
一〇・四〇　經濟市況（大連・新京）
一一・〇〇　家庭講座（大連）百人一首に現はれた閨秀歌人（一）甲斐水棹
一一・二〇　料理獻立（奉天）
一一・三〇　家庭メモ
一一・三五　經濟市況（大連）
一一・四〇　經濟市況（東京）
一一・五九　時報（東京）
〇・〇五　晝の演藝 一、尺八 秋元蔭山 二、落語 宮戸川
〇・四〇　ニュース（東京・新京）
一・〇〇　經濟市況（大連・新京）
三・〇〇　經濟市況（大連・新京）
三・五〇　經濟市況（東京）
四・〇〇　ニュース（東京・新京）

夜
四・三〇　經濟市況（大連・新京）
五・二〇　ニュース（鮮語）新年所感（鮮語）
六・〇〇　子供の時間（東京）
六・二〇　コドモの新聞（東京）關屋五十二
六・二五　講演
六・五五　カレントトピックス 一家團欒（東京）阿部磯雄
七・〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七・三〇　謠曲 卷絹 寶生新 外（東京）
八・一〇　三曲 住吉 箏 越野榮松 三絃 藤井千代賀 尺八 山口四郎（東京）
八・三〇　新春ヴアラエテイ（東京）風流おめでた双六 作並演出 風流倶樂部同人 出演 汐見洋 榎本健一 三遊亭金馬 伊達里子
九・三〇　時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇・〇〇　琵琶 地震加藤 泉旭春
一〇・三〇　北滿の時間（哈爾濱）

三曲「住吉」

箏　星野榮松
三絃　藤井千代賀
尺八　山口四郎

一千年の色は雪のうちに、深き顏もけふこそは、はるばる來ぬる旅衣、日も麗に四方の空、かすみにけりなきのふまで、波間に見えし淡路島、あをぎが原もひやる、實に廣前のすがすがし、かたそぎのゆあひの霜のいひかへり、契やむすぶ住よしの、松の思はむことのはを、わが身に恥づる敷島の、道をまもりの神なれば四季のながめのそのうへに、戀は殊さら難題がちに、讀めたやうでもよみおほされず、てには運に心を盡し、高いも、低いも、あゆみをはこぶなか、おしてるや難波女のよしあしとなくかりそめにうたふひとふし艶なる、忘貝の名はそらごとよ、逢うて別れて其後は又の花見を樂しみに、日數かぞへて思ひ出す、わすれ草との名は僞りよ、茂りてかれてそれからは、後の月見を樂しみに、夜半をつみつゝおもひだす、春や秋、往昔世に光る君、御願はたしの粧の今に絶えせずおくは猶、深みどりなる其中に、花や紅葉をひゝ時にこき散したる賑ひは、筆もことばも及びなき折しも月の出汐に、つれて吹き來る松風の、つれて吹きくる松かぜの、かよふは琴のねがひも、三つや四つのやしろの、御めぐみ、猶いく千代も限なき、道の榮と祝しけり、道の榮と祝しけり、

新春ヴアラエテイ
風流おめでた双六
喜代三、エノケン其他 呉越同舟の華かな競演

作並に演出及指揮　風流倶樂部同人
石黒敬七　齋藤龍太郎　杉山長谷雄　北村小松　高田保　辰野九紫　德川夢聲　宮田重雄　弘木丘太

出演　喜代三　榎本健一　音丸　藤山一郎　藤尾純　その他大勢

新らしき年のはじまりを元氣よく壽ぐために今晩七草の夜を樂しく双六に打ち興じようとするのがこのヴアラエテイである。風流倶樂部の同人が前回の秋の「風流デパート」以上に張りきつて合作したもので出演者も脚本本位でベストメンバーを揃へ專屬團體もレコード會社もすべて呉越同舟、エノケン、新喜劇、新興、新劇、東寶、ポリドール、テイチク、キングのピックアップチームで、まことに和やかに電波の中で競演する新春ヴアラエテイ初夢の寶船ならぬラヂオの寶船はこゝに壯觀を極めて皆樣にお耳通りしようとするのである

風流合唱團
風流管絃樂團

紹介アナウンスが終ると「お目出度う〳〵おめでた双六はじまりはじまり」と合唱がはじまるそれが終るとつゞいて双六をする女の聲がする

双六をする女一……姬宮接子
同　二……宏川光子

これからこの二人振る双六の賽の目の通りにいろいろな落やかな場面が展開しやうとするのである振りあてた目は

「夜討曾我」
十郎……汐見洋
五郎……藤尾純
虎少將……松島詩子
竹本都大夫
鶴澤文之助

「既に一九三七年ゝゝゝゝ晴らすは今宵ぞとハリ切る兄弟五郎十郎」――と鳴物よろしく十郎と五郎が出てくる。虎少將は十郎に貸しがあるのでそれを待つてゐた。虎少將はそのお金の催促をする。十郎はあやまつてこの次まで待つてもらひ二人は勇んで工藤の館へ案内される。次の双六の賽は「門松」にゆく

落語……三遊亭金馬

年の暮からお正月にかけて二人仲よく立つたり座つたりしたまゝでゐる松と竹、房州育ちの松太郎、相模生れのお竹さん兩人は退屈な人生ならぬ松生を嘆じてゐたがお互ひに慰めあつてゐるうちにもう別れなければならなくなつた、成程木に竹はつげないといふお話―つゞいて振つた双六の目は「オペラ龍宮」となる

音姬……音丸
浦島一郎……藤山一郎
魚……森野鍛冶哉

昔なつかしい歌「浦島太郎龜にのり、波の上やら海の底」といふ唱歌が聞えて水の中となると音姬が「博多夜舟」を歌つてゐる、一郎もそばにゐて海の月の講義を音姬から聞いてゐる。浦島も「酒はだめだがあんころは」とうたつてそれから別れて行れて行くことを嘆じあふ。そして又音姬は「滿洲吹雪」をうたひ玉手箱を浦島に贈る。浦島はその返禮にレコードを一枚送る―それは「東京ラプソデイ」であつた―次は「休み」で寸劇である

主人……大川平八郎
妻……堤眞砂子
醫者……森野鍛冶哉

借金の穴埋めに小遣ひを使ひすぎた主人病氣と稱して寢てゐる。友人の醫者がきて診察する。主人は妻に醫者のために酒をださせる。そして主人が飲んでしまふ。主人妻君の手前苦しそうに醉拂ふといふコメデイ。―次に「龜」

演藝講演…石黒敬七

龜についてといふ講演を頼まれた石黒先生、家の女房がそれはつま牛や虎の話。印度の地震の話。カツパの話。をしてゐるうちに時間がなくなつてしまふ。―次は「加留多」といふ朗詠

男……汐見洋
女……伊達里子

若い男と女が百人一首の歌を朗詠する、そして昔と今との歌問答で「金色夜叉」のお宮の歌といつて金といふ和歌を朗詠する。

―つゞいて「初夢」

女……喜代三
男……榎本健一
丹下左膳…大川平八郎
妻……伊達里子

眠がりやの男がうとうとしてゐると小原良節が聞えてくる。男いゝ心持になつてそれを聞いてゐるうち櫻島が噴火する。京都まで吹き飛ばされてしまふと丹下左膳や櫛卷お藤に逢ふ。妻君に起されて夢がさめたらみんな忘れてゐたといふ歌謠ナンセンス。―次は「鶴」にあたる

男……藤尾純
女……堤眞妙子
女中……姬宮接子

銀座を歩いてゐた男女が鶴について問答をしてゐる。鶴の尾の黒いところは羽根であるいや尾ですといつて分らない問答をしてゐる、そして鶴料理を喰べにゆくと吸物にたつた一つ、その理由をきくと女中は鶴は單調（丹頂）ですと答へる。

―これから忽ち「惠方」となつてこの双六が「上り」となる。

榎本健一
他出演者一同

さて、たうとう上りである。エノケン氏のあいさつによつて今年の振り出しであるお正月に日本全國皆樣の上に祝福あれと語り「かつぽれ」を合唱してめでたくヴアラエテイを終る。

（カツトは上より喜代三、三遊亭金馬、汐見洋さん）

泉旭春さんの 琵琶
後一〇時（新京）「地震加藤」を演る

……泉旭春さん……

高麗野諸越押なべて御旗の風に草も木も吹き靡けんと勇みしはあはれ昨日の夢なれや千軍萬馬幾年か立てし勳と輝ける鎧の袖に引きかへて

干すに由なき濡衣
頃は慶長元年
閏七月十二日
初秋風のおとづれて
むぐらにすだく蟲の音も
早や更け渡る庭の面
さやけき月の影さへも
いつしか雲におほはれし
夜の景色を打眺め
そゞろ我身の憂節に
思ひくらべて清正は
心を千々に碎きけり
折しもあれや何となく
吹く風さへもたゞならず
驚破やと思ふ其暇も
あらすさまじや恐ろしや
俄に起る大地震
搖り返し又搖り返し
軒をならべし家々の
倒るゝ響叫喚の
聲は夜陰をつんざきて
靜けかりける秋の夜も
阿毘地獄とぞなりにける
清正すつくと立ち上り
如何にやいかに若黨共
殿下の御身氣遣はし
我に續けと呼ばはりて
腹券押取り間にかけ
伏見の城へぞ馳付くる
さしも太閤一代の
榮華をこゝに集めつゝ
玉樓金をちりばめし
本丸さへも早すでに
倒れて猛火炎々と
彼方此方に燃え上り
天をも焦がすばかりなり
崩れし塀をよぢこえて
遙か奧庭見渡せば
二個所三個所篝火を
焚きける方に張る幕は
五三の桐の紋所
殿下は彼所に御危難を
避け給ひぬと知られしに
張りつめたりし氣もゆるみ
聊か安堵の思ひして
暫時息もつき居たりけり

落語
（後〇・〇五 新京）懷一平

……懷一平さん……

將棋が好きで毎晩遲く迄遊んで居て父親の激怒から閉出しを喰つた伜、友達の家でかるた遊びに夢中になつてゐて歸りが遲くなつて母親から閉出しを喰はされた娘、仕方なく伜の方は叔父さんの家は泊めてもらひに行く、娘は無理に一緒に來るので伜た叔父さんは甥が娘を連れ込んで來たと感違ひして犬猿にも等しき兩家の伜と娘を結婚さすべく骨を折る笑話

歴史に現はれた牛【上】

木曾義仲の火牛の作戰

壽永二年の夏の事、木曾冠者義仲は源氏の旗風に氣勢を添へるべく高師に押し上つた 平維盛は軍を率ひて越中、波山に屯して義仲の軍を迎へた時に義仲は田單の故智に學んで牛四五百頭を狩り集め角に松明を附け火を點じ夜陰に乘じて三萬餘騎の先頭として敵陣に放つた。平家の陣容ために大いに亂れ人馬の峠より落ちる幾百を知らず、維盛わずかに身を以て免るゝの止むなきに至つた。後世稱して木曾冠者倶利伽羅峠の合戰と云ふ

赤穗義士と牛肉

大石内藏介が主家退散の後同志の輩粒々辛苦の際、堀部彌兵衞の許へ牛肉を贈つたことがある。それに添へた信書の文言は

可然方より到來致候故進上致候、老養には最上との事故宜敷御用被成候、尤黃牛と申しながら是は若干の由故肉合は格別柔き由承及候今夕安兵衞殿被參候也に被仰聞可被下候
大石内藏之介
堀部彌兵衞殿

殺生禁斷嚴しき時、物堅き武士の間にも斯樣な事があつたかと不思議の樣だが、當時とても内密には牛肉が食膳に上つてゐた事は掩ふべくもなく、殊の外の珍品として友誼をこめた贈品であつたであらう。

一休和尚の牛盗み

京都紫野大德寺の一休和尚が未だ若年の折禪學の修業に諸國遍歷の際のことである。山里を別たぬ一日の跋渉行脚にほとほとと疲れ果てた身體を持ちあぐんで暮れ行く彼方の杜蔭を見るともなく見渡すと、誰が繋ぎ捨てたか一頭の牛が纜を破つて此方に歩いて來るではないか。俗界を超越した洒脱の一休和尚は其の牛を見ると、これ天の與へと微笑んでひらりと牛の背に其身を据へて悠々然として進んで行つた。

牛の見當らぬのに驚いた飼主は右往左往在所を探して血眼になり、遂に一休和尚が据て天を仰いで居る姿を見たからたまらない。怒を帶びた聲音は荒く勢ひ込んで走り寄り、有無と云はせず、牛の背より引き下し、罪を責め誰何する見幕はたゞ事でない。紫野の一休だと彼は答へた。當時一休と云へば鳴り響ひた高德の大禪師故此の僻事のあるべきを信ずる由もなく、されど物心する彼飼主は殊勝らしい禪坊士の無邪氣な飄逸を追究する程の野暮でもなかつたと見へ、然らば十二支讀み込みの和歌一首を求めた。一休は完爾として需に應じて如咏一首

「午未申酉きりぬ亥子よ俺も去ぬ(戌)丑とら(寅)ぬさへう(卯)きなたつみ(辰巳)を」とくつた。一休の狂歌は既に定評のあるもの二度怒つた飼主は其一休なることを知るに及んで却つて之を光榮として長し一門に言ひ傳へた。

騎士の幻影 (三)

尾崎士郎

わたしは高い塔の上にゐるおとぎばなしの女王です。あなたの來て下さるのをどんなに長い間待つてゐたか知れないのにあなたの姿は何處にもみえないのです。私は塔の上で朝から晩まであなたのことを思ひつゞけて泣いてゐます可哀さうなあたしよ、わる者が毎晩わたしを苦めるために階段をのぼつてきます。

だが、そこまで書いたとき階段をのぼつてくる靴音がほんたうにひゞいてきたのである。ウラは慌てゝ手紙を小さく折りたゝんで懐の中へかくした。靴音は彼女の部屋の前でとまつて、やがて輕いノックがひゞいてきた入つてきたのはわるものではなくて彼女の空想の中の若い騎士だつた前に會つたときとくらべると彼は一層やつれてみえる。げつそりと頬の肉が落ち、ぶざらの無精ひげが顔面を埋めてゐるのでもうすつかり老衰してしまつた人間のやうな印象をあたへる。ウラは不意の訪客にすつかりドギマギしてしまつたが、しかし相手の狼狽は彼女よりも烈しかつた。

「兄さんは？」

「まだ歸りませんの」

彼女は低い聲で答へてから口の中で呟くやうに

「すぐ歸るのよ、だからお待ちになつたら……？」

「えゝ、でも、もう一度出なほして來ますから」

痩せおとろへた中里信吉の一階一階とよろけるやうに階段をおりて行く靴の音がしいんとした空氣をすべつて物かなしく彼女の耳へひゞいて來た。しかし兄が歸つてきたのはそれから間もなくだつた。兄は何時になく不機嫌な顔をしてゐた。

「あのね、少し前に中里さんが來たのよ」

言ひかけたウラの言葉を遮るやうにして兄はたゝきつけるやうな聲で言つた。

「會つたよ、—今、道でねあの男は病氣になつて困つてゐるから金を借してくれといふんだ、あんな風に泣きつかれるのは閉口だよ、そりやあ向うだつて困つてはゐるだらうけれど、こつちだつて餘裕があるわけぢやあないからね」

「それで、どうしたの、——」

「仕方がないから借したよ、だがね、このおかげで、お前に買つてやらうと思つてゐた翠の指輪がすつかりフイになつてしまつたんだ——」

ウラは思はず顔を俯せてしまつた。彼女は自分の指輪が——夢にも忘れたことのない翠の指輪が消えてしまつたことよりも、空想の中の騎士がみぢめにも姿をくづしてしまつたことの方がかなしかつた。

「でもね、——お前には氣の毒だけれど、やつぱりいゝことをしたと思ふよ、あの人もほんとうに心の底から感謝してゐたからね」

ウラの眼がしらはひとりで熱くなつた。彼女はついと視線を外らして窓の外をみたに空が曇つてゐるので教會堂の圓塔は煙のやうに濛々と立ちのぼる灰色の雲の中に無氣味な姿を示して峻り立つてゐた。

それから五日目の朝、まだ夜がしらじらとあけかゝる頃だつた。ウラは朝早く郵船碼頭を解纜するY丸の甲板の上に兄と二人で立つてゐた。

上海の街は暁闇の空の下にまだ深い眠りに落ちてゐた。紘側を洗ふ波の音が彼女の旅愁に調べを合すかのやうにひゞきよつて來る。

黃浦江の水面はうすい靄につゝまれ、靄の切れ目から甲板のあかりがうつくしくきらめいてゐた。空がだんだんあかるくなつてきた。船の下にあつまつてゐる群集の數がふえて雜音が波の音のやうに迫つてくる。そのときひとりの男が猿のやうに船橋をよぢのぼつてきた。——彼は甲板にむらがつてゐる人の列を分けながら、しきりにきよろきよろあたりを見廻はしてゐたが欄干によりかゝつてゐるウラの姿をみとめると、いそいでうしろからちかづいてきた「ウラさん！」

その聲にウラは思はずうしろをふりかへつた。やつれ果てた中里信吉の顔が淋しさうに笑つてゐた。

「わざわざきてくださらなくつてもいゝのに」

兄は青ざめた中星の顔を不安さうに眺めながら言つたがしかし、若い畫家は元氣のいゝ聲で、ウラの方に眼を向けながら

「僕はね、——さよならを言ひにきたんですよ、僕の部屋にあつたあの畫の中で窓にもたれてゐた少女はむろんあなたです。でも、あの畫は自分の感情がぐらついたためにすつかり失敗してしまつた、しかし、そのおかげで私はほんたうに自分にふさはしい構圖をさぐりあてたのです。私はあの畫面からあなたの姿を抹殺してしまふのです、その方がみえないあなたに對する憧れをどんなにつよくあらはすことができるか知れないのです」

彼は苦しさうに咳をした。

朝の空はあかるく澄んでゐた。靄はすつかり晴れて岸をいろどる楊柳の並木が夢のやうにほのぼのとうかんでゐた

「さあ、——これでお別れにしませう、さよなら！」

ウラは船橋を下りて行く中里のうしろ姿をみつめてゐたが、しかし彼の姿が危つかしく群集の中に消えてしまふとそのまゝ倒れるやうに欄干にもたれかゝつてぢつと眼をとぢた。

田家の雪

甲斐水棹

靦子にも堆肥にも雪の降り積もり門の紅聯陽に映ふなり

軒につむ高粱稈の雪かい散らし滿童あそぶ晝あたたかに

そこばくの陸田たがやし人棲むか雪に埋もるる崖下の小屋

滞納の租税もすみて村人ら焚火ゆたかに雪の夜をゐむ

背戸籔にふふめる椿雪かづく吾家は思へこゝに三十年

新年の歌

健かにいまは成りにし子が歳の丑歳の屠蘇くみ交すかも

おほほしき歳の幾歳過ぎゆきて心すがしき初日の光

日満交歡古詩抄 (上)

神尾弌春

勅を奉じて內宴に陪す

渤海大使　王孝廉

海國來朝遠方自りし
百年一醉天裳に謁す
日宮座外何ぞ飲なるを見る
五色の雲は飛ぶ萬歳の光

渤海國は、わが用明天皇の朝和銅六年（皇紀一三七三年）大祚榮が建てた國で、今の滿洲國東部、朝鮮北部および沿海州の一部を領し、日本海を隔てゝわが國と對してゐたが建國後十數年にして使節の來朝を見て以來、兩國の國交は年一年敦厚を加へ、わが醍醐天皇の朝延長四年（皇紀一五八六年）その契丹に亡ぼさるゝまで二百年間親交終始かはらなかつた

この詩の作者王孝廉は、弘仁五年九月三十日來朝翌六年正月入京參賀したのであつたが、正月七日には大使王孝廉以下に敍位の御事があり、この日五位以上の文武百官とゝもに禁中に饗宴を賜つた、詩はそのとき詠じたもの、鯨波萬里はるばる入朝した渤海使臣この日の感激と內外諸臣和樂の情景とがよく現れてゐるなほこの日從五位下に敍せられ感恩賜宴に陪した錄事釋仁貞にも左の詩がある

七日禁中に陪す　釋仁貞

貴國に入國して下客を慙づ
七日恩を承け上賓と作る
更に見る鳳聲妓態無く
風流變動す一國の春

□　□

春日雨に對し探りて情の字を得

王孝廉

主人宴を開く邊廳に在り
客醉うて泥の如く等しく京に上る
疑ふらくは是れ雨師聖意を知る

甘滋芳潤　羈情麗かなり

渤海使節の一行が上京の途新春雨に逢ひ、朔風吹き荒ぶ北國の淺春と打つて變つた甘滋芳潤な風景を賞しつゝ、驛館に催された饗宴に歡をつくした情景が、ありありと眼前に浮んで來る、王孝廉が探り得た「情」の韻をおして、主客の間に唱和應酬があつたことゝ想はれるが傳ふる所が無い入京の後一行をその宿所鴻臚館に訪れた滋野貞主に左の一首を見る

春夜鴻臚に宿り渤海入朝の王大使に簡す

滋野貞主

枕上の宮鐘　鴟漏を傳へ
雲間の賓雁　春聲を送る
家を辭して里許感に勝へず
況んや復た他鄉客子の情

新年文藝◇入選句評

三木朱城

南嶺の闇ほころびし初日かな　まさし

新京の初日の出である、今までまつくらがりであつた南嶺のほとりがやゝ白みかけ枯木の姿が現れかけたと思ふと地平線から紅い初日が現れ出した、そして見るく内に雪の曠原の上にさつと明るい光をみなぎらしたといふ光景である、此の闇ほころびしといふ七字に句の生命が活躍してゐる。待ちかねて佇む人々に徐々に現れる初日の光芒は、實にほころぶといふ言葉を以て言ひ現はし得てゐる表現にも氣持にもゆるみのない佳句である

初日待つ天下第一關の上に　花ト

天下第一關は萬里の長城のはじまる處山海關にある、こゝに立つて初日を待つことは種々な意味に於て愉快である。言葉に多少の桔硬さはあるが反つて此の場合豪壯さを助けてゐる樣に見へる。

司令部の大注連飾くぐりけり　ほゝみ

場所はどこでも宜しからうが先づ新京として句評をすゝめよう。日本の昔のお城を思はす樣ないかめしい軍司令部も流石に今日はお正月らしい雰圍氣に滿たされてゐて年賀の人がくびすをついでゐる、其の司令部の飾りをくゞつた、即ち年賀に伺候したといふので軍國にふさはしい一情景である。

書き初や入選の句を筆太に　村路

小學生は小學生、中學生は中學生、詩人は詩、歌人は歌と夫れくよつて其の書初は違ふであらうが作者は俳人であり從つて俳句を書いた、其の俳句もどこかの俳誌にでも入選した句である、筆太にとあるので短册や色紙でなく半折にでも書いたのであらうが其の句も單に入選句といふばかりでなく自分でも多少得意の句であることを想像される、其れは矢張り筆太にと表現されたことに依つて覷取される。

雪晴の門に立てたる國旗かな　一陽

童心其のものゝ如き句である何等の奇もないがしかし雪晴の門にはためく日章旗の鮮かさが目にしみる樣である

左義長の跡そのまゝにありにけり　東風

前句の童心に比べて又趣の異つた老巧の句である、とんどのあとの黑々とした土、燒け殘つた藁、竹の類が原形をくづしてはゐるが夫れと見れば見らるゝ形をたもつてゐる、あたりに人も居ない、或は粉雪がちらく其の上に降つてゐるかも知れない。

ノート

その立遅れを言はれ乍ら、昨年末には短歌會、それに川柳のグループが生誕した。本年は當地文藝界の活潑な動きが見られさうである。空まはりに非ずして火花を散らす氣合が感じ取られる。

◇

文藝への熱の異狀なる昂まりがあげて本欄に反映することは蓋し盛觀であらう。

◇

當選短篇小説は明日から續掲する、好評を得た大内氏の當選作「官場現形記」は暫く休載したい。

◇

甲斐水棹氏の玉稿を戴いた、女史は歌壇に於ける當代女流の錚々、現在あかしや短歌會を率ゐて歌誌「アカシヤ」を主宰してゐられる。

◇

「新京短歌會」の新年歌會は來る十日（日）午後一時より國際クラブで開催される。出席者は詠草一首、七日まで本社學藝部宛送付下さい。（群多鶴夫）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲滿洲評論（一月一日號）この雜誌も創刊第七年を迎へた、滿洲國第二期建設の諸問題特輯とし橘樸「日本大陸政策革新の目標」永井定「滿洲國國防治安政策の現勢」田邨健一「滿洲國財政金融政策の革新的發展方向」小山貞知「滿洲帝國協和會とは何ぞや」の四篇を收めてゐる（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

▲北支那（一月號）南夆「日支再交涉の活路」津田信吾「對支經濟的協力の眞意」大江卓「北歐の思出」村上成幸「御藏島と八丈島の想出」大熊卓藏「冀東名所點描」「西安事件と北支の動向を語る座談會」大村鐵一「北寧鐵路物語」T・S生「賀蘭山紀行」堀內干城「關稅特別會議の思出」等北支唯一の日文月刊として相當の出來榮えである（天津日界松島街二、北支那社、三十仙）

昭和の常識

賀正の文字は、日本書紀、孝徳帝の條に『賀正の禮畢る、即ち改新の詔を宣り給ふ』とあるのが起原

腰掛けて仕事をするに良い姿勢は腰を引き、腹を前に出し、肩をダラリと下げ餘り物に寄り懸らぬ事

偏食を止めさして下さい。色や形の配合、味を工風して作れば、子供の嫌ひは、直き好きになります

東京擴張部

本社・第一工場

上海出張所

大連出張所

天津仁丹公司

漢口仁丹公司

本年も 仁丹製品の 御愛用を

一家揃つて健康と明朗の爲め

仁丹製品

- 懷中藥仁丹　解毒劑毒滅
- 仁丹の歯磨　仁丹體温計
- 仁丹石鹸　仁丹歯刷子
- 仁丹藥用靈泉　仁丹化粧麗泉

仁丹本舗　**森下博大藥房**　大阪市東區玉造

東京擴張部　東京市淺草區鳥越町
名古屋擴張部　名古屋市西區西萬町
朝鮮宣傳部　京城府岡崎町
天津仁丹公司　中國天津日租界旭街
漢口仁丹公司　同漢口日租界中街
上海出張所　同上海共同租界河南路
大連出張所　關東州大連市浪速町
奉天出張所　滿洲國奉天加茂町
哈爾濱出張所　同哈爾濱八站南馬路
仁丹第一工場　大阪市東區玉堀町
仁丹第二工場　京都府相樂郡瓶原

明るい健康を掴め　蟄居から戸外へ
恒例、十四日から二十日まで　全滿一齊に〝戸外週間〟

多の永い滿洲ではとかく蟄居になりがち從つて尠からず健康を害するのに鑑み滿鐵では毎年戸外週間を催け冬期間つとめて戸外に出ることを勸めてゐるが本年も關東州と共催にて全滿一齊に十四日から二十日までを〝戸外週間〟とし戸外週間の眞の意義を印刷したビラ數十萬枚を代表都市の上空から飛行機で撒布し一般に徹底させる筈であるが各地に於てもそれ〴〵週間中のプランを立てゝゐる、新京に於ては滿鐵事務局地方課が主となり關東局、滿洲國文教部、滿洲協和會及び本社などが後援にてスケート祭、寶探し、全市民耐寒行軍等を大々的に擧行すべく準備を進めてゐるが具體案については近く各關係者が集合協議の上決定する筈である

第七小學校の教職員內定

新京第七小學校は來る十日開校式を行ふが同校の教職員は大體學校長佐藤眞一氏（櫻木）首席訓導副島武雄氏（西廣場）以下左の諸訓導にそれ〴〵內命が降つた模樣である
△八島小學校　繁出、小松、向山、今川、踏田各訓導
△櫻木小學校　松下、前澤、小林、吉村各訓導
△白菊小學校　小野寺訓導
その他二三名は內地方面から任命される模樣である

八島校創立記念學藝會開催

來る十日創立第二周年記念日を迎へる八島小學校では當日は日曜日のため一日繰り上げ九日午後一時から第七小學校その外他校へ轉出分離する兒童の分離式を兼ねて創立記念學藝會を催す、午後一時から分離式、一時半から學藝會、なほ八日は兒童のため午後一時から學藝會を參觀させる

國內教育映畫事業を文教部で强化
サウンド版製作にも乘出す

文教部禮教司では四年度豫算決定とともにいよ〳〵教育映畫事業に積極的に乘り出すこととなり、文化程度の低位な滿洲國民に對し目による最も効果的な教育手段に一段の强化を期する事となつた、即ち新計畫に於て最も注目されるのは從來の無味な無聲映畫を廢してこれをトーキー化することにあり、取り敢えず價格四千圓の新發聲機一台を購入して本部に置き本部に開かれる省教育當事者の教育會議等ある每にこれを鑑賞せしめ將來は廣く各省教育廳にも右發聲機を頒置して直接學校、家庭教育の具に供せしめることになつてゐる、更に今までの教育映畫フイルムは全て日本の風光また漫畫類を購入したものであるがこれを機會に同部の手によつて費用約一萬圓をもつて年三本程度で眞に國情に相應しいサウンド版を造るべく早くもストーリー其他の準備中であるが右は映畫教育上一新紀元を劃すものとして期待される

相談所に次ぐ新機構　商議で增設計畫
研究會、小賣業委員會組織か

躍進國都の新狀勢に對應して中、小商工業の振興策に全力を傾注しつゝある新京商工會議所では本年度から商工相談所を開設すべく着々準備中であるが、同相談所はその性質上受動的機關なるため、より積極的に一般市中商工業に助成指導を興へるべく、更に商工研究會並らびに小賣業合理化委員會の二機構を增設することゝなつた、即ち商工研究會は學識經驗ともに豐かなる斯界の權威者を網羅して組織し理論的に中小商工業振興策を研究したる後、これを實際的識見深き商店街有力者を中心として組織される小賣業合理化委員會に諮議し兩者の充分なる檢討を經て新京の土地柄最も適當と認められる方策を商工相談所等を通じて一般に施行するといふ案であるが一般商店有力者間にも自主的に繁榮策が種々講ぜられつゝあるとき商工會議所のかゝる積極的具體案は誠に時宜に適したるものとして、兩々相俟ち多大の效果が擧げられんことが期待されてゐる

感ずる所ありと　青年衣類を寄贈

六日新京署に至り「自分は渡滿して國家の危機を目前に强く感ずる處あり陸軍に志願し幸ひ甲種に合格し三月入營することになつたから入營後は官物を支給されるからこれを貧しい人に上げて下さい」と木綿飛白の袷衣上下、サージの詰襟洋服一着、メリヤス襦袢を置いて名もつげずに立去

室町校書初展

室町小學校の書初展覽會は來る十五日から同校講堂で開催なほ三中井百貨店で十五日催されるオール新京書初展及び十八日奉天で開催の書初展にも出品する

東公園は公園か
否、乞食の溜り場である！　そこで春來らば面目一新

新京附屬地名所の一つである日本橋通りの東公園はその施設も不充分な爲夏季は乞食の集り場所になつたり納涼園にも使用されるなど殆んど公園としての意味をなさないので新京事務局は本年解氷期を待つて現在の伊藤記念館を公園の一隅に移轉し大々的に園內の整備をなし今後は一切個人の使用には貸付けぬ方針と云はれてゐる、一方市民有志の間に記念館と並んで伊藤公の胸像建立の議も起つてゐるのでそれが實現の曉は面目を一新するものと期待されてゐる

昨年度に於る來京團体

昭和十一年の國都視察旅行團體は新京驛旅行團體係の統計によれば、普通團體二百二十七、七千五百五十四名、學生團體は二百九、一萬五千二百四十名、合計四百三十六團體二萬二千七百九十四名になりこれを投宿旅館別にみると學生宿泊には旭ホテル、太陽ホテルが最も多く、普通團體は國都ホテル、大和新館、愛國ホテル、向陽ホテルが最も利用されてゐる、一年を通じ團體宿泊は旭ホテルの五十二回三千七百四十五名が筆頭で、次が太陽ホテルの四十回二千五百八十六名、愛國ホテルの三十二回一千九百二十七名の順序となつてゐる

色魔の手に踊る邪戀二人情婦
捨てられた方が腹癒せに訴ふ

六日新京署に小柄な一見十六七の女が成松刑事の前でうなだれてゐた、これは東京淺草生れで有名な講家を父にまた勇名轟く一流拳鬪家を兄に持つ名和蘭子（二十一）＝假名＝と言ひ昭和十年夏我儘から東京須田町喫茶〝花柳〟に女給として働く中、その頃遞信省に勤めてゐた妻もあり十八を頭に娘三人もある茨城縣筑波郡小田村字大形石田五郎（四五）と戀を語り手を携へて新京に出奔、富士町二丁目信濃屋に

親娘

と稱して同棲生活を始めたが、先號の世話で附屬地の某官廳庶務主任に就職した石田は忽ち色魔の腕に撚をかけ傍ら近くにゐる二名のタイピストにモーションをかけ靡き具合に依つて地位を利用し仕事に難癖を付けるので俄然兩タイピストの競爭となり遂に田島花子（十九）＝假名＝が石田の術中に陷り石田の居所體樂路千洋行に走つた、そこで當時內地より呼び寄せ某官廳に勤めてゐた實子蘭子＝偶然情婦と同名＝（一八）、情婦蘭子（當時二十）、タイピスト花子（十九）と石田とは一室に起居すると云ふ言語に絶した亂痴氣が勤務先へ知れ石田と花子は

失業

の羽目になつた花子の父は昨年二月哈市から來京、兩人の非を詰つたものの子供だとて哈市へ花子を連れて歸つた時は既に花子は姙娠五ヶ月、その上惡性の花柳病をうつされ呻吟する身なので母體を助け流產させたが石田の魔力に魅せられた花子は再び新京に舞ひ戻り、醜い獸慾と嫉妬の度重なる鬪爭に負けた先情婦蘭子は堪え兼ねる傷ついた心と身で石田の實娘を裝ひ祝町の某カフエーで淋しい日を送つてゐたが何か復讐せねば腹癒えずと石田親娘並に花子を嫌疑者として自巳の金指環の盜難屆を掛したことに依つてこの醜體を暴露したが石田はその後こふした娘同樣の乙女を毒牙にかけた事を何處風吹くと知らぬ顏で滿洲國某部某司に勤めてゐるがその不德振りには取調官も顏をそむけてゐたが

情婦

もさるもの某カフエーで新しい彼氏と別人生を享樂してゐる由だが石田の實娘を裝つた屆がばれて處分され六日呼び出されたものである

バス停留所の新設願却下

新京交通會社では例年酷寒の候になればバス停留所なきため一般乘客から待合所の設置を要望されるのに鑑みて今冬は早くから康德會館前、財政部前、白菊町、南廣場、陸軍病院前及び寬城子の各終點に年內までに簡單な待合所を設置して旅客サービスの計畫を立てこれが許可願ひを土地管理當局の國都建設局へ提出折衝中であつたが、國都建設局では國都美化を建前にこの願書を却下して仕舞ひ、交通會社の切角の乘客サービスの計劃も一頓挫を來した、なほ大德公司の寄附により金輝路、同治街、又金泰洋行の寄附により吉野町及び交通會社の南關各停留所にだけは簡單な待合所新設されてこの方面乘客には非常に喜ばれてゐる、右の如き事情で新發屯方面各終點の待合所はまた當分の間出來そうにもない

エルマン來演？
十八年目の日本訪問を期に　滿鐵で招聘運動

十八年振りに日本を訪れた世界的提琴の巨匠エルマン氏は本月東京の演奏を振り出しに各地で演奏することゝなつたが滿鐵音樂會ではこの機會に是非滿洲へ招聘すべく昨年來より交涉中であるが纏まり次第二月下旬か三月上旬頃大連を始め新京、奉天等で演奏會を開く筈であるが早くも好樂家間に前人氣を呼んでゐる

滿洲國新學制
文教部で大綱を決定　明年二月一日から正式實施

舊政權時代より踏襲して來た學制を根本的に更改、新國家としての國情に副ふべき學校教育百年の大計を打ち樹てる文教部の劃期的事業、滿洲國新學制の制定については昨春以來各學校の實態、國民の慣習等を基本目標に制定を急がれてゐたがこの程漸く大綱方針を決定するに至りいよ〳〵康德五年二月一日から正式實施されることゝなつた

確聞するに新學制の根本精神並びに大綱方針はまづ國民精神を昂揚すると同時に日滿不可分關係の眞意義を把握せしめるにあり、日本において弊害を伴ひつゝある偏知教育を排し作業教育に重點を置いて勤勞精神の養成に主力を注ぐ、小學校は初級四年と高級二年とに區別して高級二年では實業補習教育を實施する、中等學校にあつてはその特徵として實社會に出て直ちに役立つ人間を養成する見地から正科の外に農業、商業、工業等の各科を併置する綜合教育を施す、師範學校は原則として中等學校卒業者を入學資格とする二部制を採用する、次いで女子教育ではその教育主眼を良妻賢母の養成に置き女子中學校にあつては家政、育兒、衞生、裁縫の各科を課することになつてゐる

最近に教科書の編纂にあたつては國情に合致する獨創的なものとし分派的な各科即ち歷史、地理、理科と言つたものを有機的に纏めた「國民讀本」を編纂して綜合教育を施す點に新機軸を見せてゐる、なほこれに附隨して私立學校は僅かな例外はあつても原則として許可しないことになつてゐる

斷然燃え上つた　滿洲の競馬熱（下）
商人側から回數減少を要望

關係者としては雨天中止はファン以上に打擊なのだから費用の出來次第改造する積りだらうがこいつばかりは借金をしてでも早く完全なものにして貰ひたいものだ、レースの種類はハルビンは駈足、障碍、繋駕、奉天は駈足、障碍、新京は駈足、方向變換で今年中に奉天は繋駕、新京は障碍を追加實施することになつてゐる

次は競馬馬について述べやう大體馬政局の馬匹改良方針は日本の競馬がサラブレツト偏重の嫌ひがあつたに鑑み滿洲國では飽くまで嚴寒の大陸において活躍させるに便利な馬を作出することを目標としたすなはち競馬登錄馬は

一、サラブレツトの血液を二五％以上含まざること
一、體高は一米五〇以下であること

を條件としどつちかといへばアラブ系歡迎の方針を採つたのである

サラブレツトを制限したのは同種が競走に重點を置いて作られた馬で耐久力、飼養管理に難點あるためで、また體高を制限したのは、騎乘用の軍馬で餘り背が高いと防寒衣を着けた勇士の活動には不便なためであるといはれてゐる、

結局理想的な滿洲馬は小じんまりした中にも俊敏でしかも粗食にも嚴寒にも堪え得る馬であらねばならぬ、換言すると滿洲の在來種にアラブ種その他の外來種をかけて作つた馬の中で最も好もしいタイプを固定させた新種がこれに該當するわけで現在の呼馬（外馬）がそれに近いものである

×

從つて以上の目的が達せられたときは抽籤馬全部が現在の呼馬以上の駿馬になるわけである、將來はさておき、現在滿洲の競馬場で活躍してゐる競走馬の產地は呼馬は公主嶺、金州等の名のある牧場やハイラル、哈克あたりから選抜されたものが多く種類もアングロアラブ、アラブ、ハクニー各種と在來種とをかけた雜種が多數を占めてゐるが、抽籤馬になると馬政局がなるべく平均化しやうと心掛けてゐるに拘らず走らせて見ると大變な開きが現はれ、中には一競馬で街の馬車馬に變つてしまふ哀れなのもある、購入地は主として海拉爾、林西等の蒙古地帶である

なほ馬の購賣値段は今のところ呼馬の最高が三千圓、抽籤馬は平均百七十圓見當であるさて全滿の競馬馬でどんな馬が人氣馬か、所屬競馬場で夫々コンヂシヨンが異ふから時計で實力を計ることは困難だが是非一度顏合せをやらせたいのは呼馬で、武（大連）照姬（大連）神嗣（奉天）玉（新京）旭正（新京）旭洋（哈爾賓）の諸强剛である

×

いづれも各地の常勝軍若くはその次位に位する名馬であり批評させたら各地思ひ思ひに所屬馬をひいきするであらうが、今春新京あたりでこれ等の優駿競走を是非實現して貰ひたいものだ

抽籤馬の中にも呼馬に匹敵するやうな好い馬が澤山あるけれど馬主の中には持馬が優勝でもすると値が出たところで轉賣する者があつたりして愛馬思想に背馳するやうでファンも嫌な氣持がするしまた身を入れて優駿を選びたいとは思はぬ、馬の榮譽が馬主の榮譽であることは考へれば今馬主達が平氣でやつてゐることは競馬精神に反してゐる、內地と滿洲の競馬は實力にどの位の開きがあるか、双方の記錄によると二千四百米で

△內地呼馬　二分三十三秒
同ア系抽籤馬　二分三十六秒
△滿洲呼馬　二分五十九秒
同抽籤馬　三分八秒

が最高記錄でこれを一緒に走らせたとすると滿洲馬は三百米以上引離されるであらう更に世界記錄に比較すると二千四百米を英國のヒー號は二分廿五秒で走つてをり日本の記錄保持馬でも優に百米引離されるわけである

ヒー號の時計は滿洲馬では抽籤馬の千八百米に相當してゐるのだからその差の大であるに驚くと共にサラブレツト種を作出した英國人の努力に對して敬意を表せざるを得ない滿洲でも三年ほど經てば現在で二歲の春を迎へた改良新馬が現れるはずだから現在より記錄は更新されるだらう

×

最後にもう一つ述べたいことはファンの競馬に對する態度である、殊に黎明期の滿洲競馬にとつては今が一番大切な時である、大體競馬は馬事思想を普及すると同時に馬匹改良に要する費用を一般國民の負擔とせず馬匹愛好者たる競馬ファンが負擔しやうといふにあり競馬そのものゝ可否についてはすでに論じ盡されたところで現に實施されてゐるほどだからいふべきことはないがこれを正當に導くや否やは一にファンの態度如何にかゝつてゐる「競馬に溺れる心は女色に溺れる心と同じだ」とはよく聞かされる言葉であるがしかしこれは自制心と研究とで是正出來ないことはないと思ふ、要は「無理をするな」である、例へばこの金を損したら生活にも影響するといつたやうな金で馬券を買ふとしたら少くも虛心坦懷な氣持で買ふ事の出來ないのは當然で買つてもレースをみるのさへ苦しくなるに違ひない、この意味で日本の競馬はいくらか以前よりよくなつたとのことだが滿洲ファンは經驗が淺いせいかまだ油紙に火がついたやうな氣持で競馬場通ひをし資金を得るためには

無理な借金までする連中が相當多い

この結果は個人ばかりでなく社會生活にも惡影響をおよぼすのは當然で現にハルビンでは市中商人達が

競馬期間中市民の諸掛金の拂ひが惡く金融の圓滑を缺くから競馬開催日數をもつと減らしてくれ

と當局へ陳請してゐるとのことだ、中には競馬にかこつけて拂はない者があるかも知れぬがこの聲はハルビンばかりでなく、各地に大なり小なり起つてゐるのだから對岸の火災視すべき問題でない、殊に現在の競馬ファンの七割までが在留日本人であることを思へば健全な經濟生活を營む上において自制が必要であり、又かくすることによつて競馬の圓滿なる發展が期せられると思ふ「無理は禁物」これは競馬教科書第一頁に出てくる言葉である

プレンソーダ

四百名餘りの在京獨身社員を抱擁する電業公司にあつて自ら出雲の神樣を買つて出る前田庶務主任は人の世話が三度の飯より好きで昨年既に二組の緣談を纏めてゐるが、新春匆々更に三組の結婚を媒介、近くお目出度の式を擧げると云ふ▲一時は獨身者の天下とさへ謂はれた國都も前田主任の樣な人の出現で和かな花嫁姿が新京神社等でみられるわけだが、前田主任は世話をする前には豫めカフエー料亭とも連絡をとつて徹底的に調査し然る後話を進めるので十中八九まではハッピイエンドまで行くとのこと、社務多端の折柄女給の申込は拒絶してゐるらしいがウンと能率を上げて欲しい次弟ではある

妖魔往來

（講談上演）桃川燕二演
内山鉦太郎畫

一四八

入郎むつとしたが仕方がない、其へドヤ〳〵と十五六人の者が來た樣子、先に立つたのは八州のお役人宮部政太郎。

「馬澤の宿役人、水死人の見分けをするぞ」

「御出役御苦勞に存じます」

「幸ひ昨夜御用筋で猿橋迄出張に及んだところ計らずも人殺し騷ぎ、只今殺された奴の檢分を濟ませて來たのだ、ソレ莚を捲ろ」

「只今是なる浪人が盜り云々斷らく」

政太郎是を聞くと急に入郎の方へ目をやつた

「コレ〳〵、大阪屋熊吉、昨夜の亂暴人は此の御人ではないか」

「ヤツ此人に違ひありません、是だ——泥棒人殺し」

「默れ何を騷ぐぞ、アイヤ宇都宮入郎、猿橋に於て兩人を手に掛けたのは其許であらうな」

「イヤ〳〵夫れは人違ひ、拙者は足痛に惱んで居て左樣な事は出來申さず。」

「默れ證據人のある上は陳ずるとも詮なし、兎も角も此者を猿橋へ引つ立てろ」

「畏まつた、御用だぞ」

「御用」

と二三人いきなり飛ついた、入郎手下の者なぞ五人や八人取つて投げるのは譯はないが、焦れた女が淺間しい死顏をしたと云つては歸ら生きて居ても生甲斐がないと……只今で申せば極度の悲觀でございます、殊に手向ひいたす時は切角死顏なりと見たいと思つてた奴が、見られぬ事になる、其處で默附いて來た奴は徂ませて置いて

「拔お疑ひなさるなら止むを得ぬが、死骸丈は充分に改めさせて戴きたい」

「ウム神妙なる申分、ソレ繩を打て」其處で忽ち捕繩を打つて、大小は取上げてしまひました。

「宿役人死骸の莚を拂へ」

「ハ、ア」

死骸の頭の方には政太郎並に宿役人其右手に繩尻を取られた宇都宮入郎、續いて大坂屋熊吉、一同立會つた處で、靜く莚を捲りました

水死人は男と女で其向方が違ひますもので、男は必ず下を向き、水底の方を見て死んで居るが、女は必ず空を向いて死ぬ、陰陽の理屈ださうですが、然う云ふ理屈があるか何うか確證の限りではありません、今上向になつて硬まつて居る女の死骸を見ると、入郎大きに驚天した、お志津だ〳〵死顏になりと會ひたい顏を見る爲に其身は繩にまで掛つてしまつた、夫程此死顏が大切だつたのに、是は何うしたものか、死んだ女はお志津ではありません、入郎が宇都宮上河原の田原屋へ出入りして居た時分に屢々顏を合せた事のある、お鶴の姉のお▢なのでございます、アツと云つて何の言葉も出ぬ位、

「何だ宇都宮入郎是は汝の知つた女か」

「ウーム」

「大坂屋熊吉、何うだ此女が猿橋の崖から落た女に相違ないか」

「何うもチト面ざしが變つて居ります、尤も死顏は相恰が變ると申ますが恐ろしく變りました、着て居る衣類に依つて手前が盜つた女に相違ないと存ます」

「フン衣類は途中變りやうがない、定めし死んで相恰が變つたのであらう、[illegible]ふか」

「何しろ三百兩の玉で、斯ん麼事はない、モツト美い女で……」

「たはけめ女は化物だ、生きて居れば好い女でも死ねば地顏が出る、衣類が相違なければ夫で好い、サア猿橋の宿へ引上げる」

宇都宮入郎は二十人以上の者がグル〳〵と取卷いて、遂に猿橋の宿役人の詰所へ引つ立てられました、入郎夢に夢見る心地です。